

令和5年度指定管理者制度導入施設 指定管理者候補者一覧

公募施設

No.	所管課	施設名	施設数	指定管理者候補者	指定期間	
1-1	アルプスリゾート整備本部	松本市乗鞍観光センター	1	(一社)信州・乗鞍グリーンツーリズム	令和5年4月～令和 7年3月	2年間
1-2	障がい福祉課	松本市希望の家 松本市岡田希望の家	2	(福)松本市社会福祉協議会	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-3	高齢福祉課	松本市島内デイサービスセンター 松本市島立デイサービスセンター	2	(福)敬老園	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-4		松本市田川デイサービスセンター 松本市芳川デイサービスセンター	2	(福)敬老園	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-5		松本市東部デイサービスセンター 松本市北部デイサービスセンター	2	(福)松本市社会福祉協議会	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-6		松本市立松風園	1	(福)松本ハイランド	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-7		松本市南部老人福祉センター	1	(福)松本市社会福祉協議会	令和5年4月～令和 8年3月	3年間
1-8	森林環境課	松本市四賀環境学習の森	1	四賀むらづくり(株)	令和5年4月～令和 8年3月	3年間
1-9	環境業務課	松本市リサイクルセンター	1	中信リサイクル事業協同組合	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-10	商工課	松本市営松本城大手門駐車場	1	TOY BOX	令和5年4月～令和 9年3月	4年間
1-11	観光プロモーション課	松本市梓水苑 松本市梓川地域休養施設	2	エア・ウォーター梓川地域開発共同体	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-12	スポーツ推進課	松本市野球場 松本市四賀球場	2	信州グリーン・シミズオクトグループ	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-13		松本市四賀B&G海洋センター 松本市波田B&G海洋センター	2	(株)スポーツプラザ報徳	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-14	公園緑地課 博物館	アルプス公園 松本市アルプスドリームコースター 松本市山と自然博物館	3	TOY BOX	令和5年4月～令和10年3月	5年間
1-15	博物館	松本市立博物館	1	(株)フクシ・エンタープライズ	令和5年10月～令和 8年3月	2年6か月間

特命施設

No.	所管課	施設名	施設数	指定管理者候補者	指定期間	
2-1	アルプスリゾート整備本部	松本市営沢渡駐車場	4	(一財)ピアーズさわんど	令和5年4月～令和10年3月	5年間
2-1		松本市野麦峠スキー場	1	(株)岳都リゾート開発	令和5年9月～令和 6年8月	1年間
2-2	高齢福祉課	松本市四賀デイサービスセンター 松本市安曇デイサービスセンター 松本市奈川デイサービスセンター 松本市梓川デイサービスセンター 松本市波田デイサービスセンター	5	(福)松本市社会福祉協議会	令和5年4月～令和10年3月	5年間
2-3	西部福祉課	松本市梓川福祉センター	1	(福)松本市社会福祉協議会	令和5年4月～令和10年3月	5年間
2-3	農政課	松本市坊主山クラインガルテン 松本市緑ヶ丘クラインガルテン	2	四賀むらづくり(株)	令和5年4月～令和 8年3月	3年間
2-3		松本市梓川水田農産物処理加工施設	1	加工組合さくら	令和5年4月～令和10年3月	5年間
2-4	文化振興課	音楽文化ホール まつもと市民芸術館 波田文化センター	3	(一財)松本市芸術文化振興財団	令和5年4月～令和10年3月	5年間

松本市乗鞍観光センター
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市乗鞍観光センターの
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市乗鞍観光センターを効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ2団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

- 1 施設の名称
松本市乗鞍観光センター
- 2 主な募集条件
 - (1) 指定期間
令和5年4月1日～令和7年3月31日
 - (2) 管理経費
利用料金制委託料併用方式
指定期間中の委託料上限額 16,300千円
 - (3) 管理運営方針
 - ア 松本市乗鞍観光センター条例並びに各条例施行規則等に基づき、管理運営を行うこと。
 - イ 指定管理対象施設の設置目的に基づき、管理運営を行うこと。
 - ウ 公の施設としての役割を十分に認識した公平な管理運営を行い、特定の者に有利、あるいは不利になる運営を行わないこと。
 - エ 多様化する住民、顧客ニーズに効果的・効率的に対応し、創意工夫の上、質の高いサービスの提供を行いながら、収支の均衡がとれた管理運営を行うこと。
 - オ 利用者、地域住民及び観光団体等と良好な関係を維持すること。
 - (4) 特記事項
 - ア 現在、松本市乗鞍観光センターに従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。
 - イ 当該施設は、令和7年度から建替工事を予定
 - ウ 当該施設は、災害時の指定避難所に指定されている。
- 3 募集の主な経過

(1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等	令和4年 7月 1日
(2) 説明会	令和4年 7月13日
(3) 質問受付	令和4年 7月 1日～ 7月21日
(4) 質問回答	令和4年 7月29日
(5) 申請書類提出締切	令和4年 8月19日
- 4 指定管理者応募団体名
 - (1) 一般社団法人信州・乗鞍グリーンツーリズム（以下「信州・乗鞍グリーンツーリズム」という。）

代 表 者	代表理事 宮崎 浩明
所 在 地	松本市安曇4238番地1
設 立 年	平成29年
従 業 員 数	11人
主たる業務	観光地の宣伝並びに観光誘致促進事業、観光資源の開発事業、観光客の受け入れに関する環境整備事業、観光施設等の管理運営等
 - (2) 株式会社Blue Resort乗鞍（以下「Blue Resort乗鞍」という。）

代 表 者 名	代表取締役 原田 秀雄
所 在 地	松本市安曇4294番地3
設 立 年	平成23年

従業員数 28人
資本金 10,000千円
主たる業務 索道事業、スキー場・ホテル等の施設の経営、松本市乗鞍観光センター・松本市乗鞍高原湯けむり館の管理運営等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会を開催

ア 開催日

令和4年10月11日（火）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員
中野嘉勝委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部のアルプスリゾート整備本部長同席の下、アルプスリゾート整備本部次長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、アルプスリゾート整備本部による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 信州・乗鞍グリーンツーリズム

7 選定結果の概要

応募団体名			信州・乗鞍	Blue
区分		配点等	グリーンツーリズム	R e s o r t 乗鞍
一次評価		100	61.00	59.50
大項目	適性	適／否	適	適
	団体の管理能力	30	14.00	13.70
	施設の運営	45	24.50	23.30
	経済性	25	22.50	22.50
二次評価		12 (2点×6人)	6.30	4.70
合 計		112	67.30	64.20
順 位			1	2

※ 施設分類・・・【A b】施設管理型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

信州・乗鞍グリーンツーリズムは、松本市いがやレクリエーションランドの現指定管理者としての管理運営実績を有しており、観光案内所・ツアーデスクの設置・運営や、市が設置する無料給水スポットの利用促進につながるマイボトル利用推進・販売等、乗鞍地域の魅力発信やゼロカーボンパークに寄与する自主事業の提案が高く評価されました。また、計画の実行性、施設の有効活用への創意工夫や指定管理者となる熱意や意欲も認められたことから、採点の結果、申請団体中最高得点となりました。

Blue Resort 乗鞍は、当該施設及び松本市乗鞍高原湯けむり館の現指定管理者としての管理運営実績を有しており、迅速なサポート・バックアップが期待できる点や、自主事業としてゼロカーボンパークに資するE－b i k e レンタル事業を行っている点が高く評価されましたが、直近3年間の財務状況から経営の安定性を欠いているとの懸念が示されたことなどから、採点の結果、申請団体中第2位の得点となりました。

審議の結果、信州・乗鞍グリーンツーリズムを指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 事務処理に係る人員体制を整え、実績報告や事業報告等については期限内に適切に作成・提出されたい。

以 上

(別紙 1)

松本市乗鞍観光センター
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Ab】施設管理型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	2				
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	16	45
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	4	11		
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	4			
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3			
			地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2		
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	3	3	14	
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3	3		
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
苦情・要望への対応			29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
セルフモニタリング			30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
自主事業		自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	4	6	6		
			33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2				
特記事項		特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		
観光振興 ゼロカーボンパーク		観光事業の振興 ゼロカーボンパークへの寄与	35 乗鞍地区の活性化を図り賑わい創出や集客の向上に繋がる仕組みが講じられているか ゼロカーボンパークへの取り組みに寄与する提案がなされているか	6	6	6		
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	25	25	25	
		事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	38 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	20				
【一次評価】 評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】 評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市乗鞍観光センター
団体の審査評価総括表

区 分		配点	信州・乗鞍 グリーンツーリズム	B l u e R e s o r t 乗鞍
一次評価	適性	適／否	適	適
	基本的事項	100	61.00	59.50
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	6.30	4.70
合 計		112	67.30	64.20
提案価格を除く点数(x)＞失格判定(32.0/80点)		x＞32.0	41.00	39.50

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	信州・乗鞍 グリーンツーリズム	Blue Resort 乗鞍
団体の 管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	2.00	0.70
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.40	1.40
	管理運営	管理運営方針	5	2.50	2.50
		組織・体制	6	3.00	3.60
		働き方改革の推進	1	0.50	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00	1.00
		経理及び事務処理等	6	2.60	3.00
		安全管理	2	1.00	1.00
施設の 運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50	1.50
		業務内容	11	5.50	5.50
		地域との連携	2	1.00	1.00
	利用者への 対応	利用促進	3	1.50	1.50
		利用者サービス向上	3	1.50	1.50
		障害者等への配慮	2	1.00	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50	0.50
	自主事業	自主事業計画	6	3.80	3.80
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00	1.00
	観光振興 ゼロカーボンパーク	観光事業の振興 ゼロカーボンパークへの寄与	6	4.20	3.00
経済 性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00	1.00
		提案価格	20	20.00	20.00
基本的事項合計			100	61.00	59.50
提案価格（2年間総額：円）				16,300,000	16,300,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	信州・乗鞍 グリーンツーリズム	B l u e R e s o r t 乗鞍
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.50	1.10
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	1.60	1.10
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	1.60	1.20
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.60	1.30
プレゼンテーション等評価合計	12	6.30	4.70

松本市希望の家、松本市岡田希望の家
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市希望の家及び松本市岡田希望の家の
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市希望の家及び松本市岡田希望の家を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市希望の家、松本市岡田希望の家

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制独立採算方式（納付金あり）

施設単位で事業年度ごとに次のアまたはイの金額のいずれか低い金額を松本市へ納付する。

ア 指定管理業務に係る収支差額に定率を乗じた額（定率は1/2とする。）

イ 各施設の松本市公会計減価償却費相当額

・松本市希望の家 1,955,000円／年

・松本市岡田希望の家 892,000円／年

(3) 管理運営方針

通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対して、就労の機会を提供（障害者総合支援法に基づいたサービス給付）する。

生産活動等の機会の提供を通じて、その知識及び能力向上のために必要な訓練その他基本的な生活習慣の習得を図る（障害者総合支援法に基づく訓練給付（就労継続支援施設B型）を実施する。）。

ア 施設の設置目的達成のため、障害者総合支援法に基づく適正なサービス給付（訓練給付）を行う。また、就労継続支援B型事業所として、制度基準に基づいた人員配置をすること。

イ 公の施設であることを念頭において、管理者意識を持って公平な運営を行うこと。

ウ 障がい者の心身状態を理解し、管理運営に当たって十分な配慮を行うとともに、利用者の意見を管理運営に反映させること。

エ 個人情報の保護を徹底すること。

オ 利用者からの苦情を解決する体制をとり、サービス向上に努めること。

カ 環境（温暖化対策、廃棄物処理等）に配慮した運営を行うこと。

(4) 特記事項

ア 「障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第171号）」に定める事業者指定の単位に基づき、両施設を一体的に管理運営すること。

イ 現在、両希望の家の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性や、利用中の障がい者が安心して利用を続けられるよう、なるべく継続して雇用すること。

ウ 松本市岡田希望の家は、令和6年度以降に大規模改修を行う予定であり、工事内容によっては施設が一定期間利用できなくなることがある。

エ 松本市希望の家は、松本市総合社会福祉センター敷地内に立地し、南部福祉複合施設に隣接していることから、防災・防犯体制は総合社会福祉センターと連携している。防災・防犯や建物の維持管理に関し、松本市総合社会福祉センターの指定管理者である松本市社会福祉協議会との費用負担や管理体制に係る調整を要する。また、南部福祉複合施設内の喫茶室（障がい者の就労訓練を兼ねている。）の利用については、別途、市と調整を要する。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|--------|-------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 1日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 15日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月19日～ | 7月22日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 1日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 19日 |

4 指定管理者応募団体名

社会福祉法人松本市社会福祉協議会（以下「松本市社会福祉協議会」という。）

代表者名	会長 小林 弘明
所在地	松本市双葉4番16号
設立年	昭和27年
従業員数	467人
基本財産	9,000千円
主たる業務	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整及び助成、保健医療・教育その他社会福祉と関連する事業との連絡、居宅介護支援事業の経営、老人デイサービス事業の経営、特定相談支援事業・障がい児相談支援事業の経営、障がい福祉サービス事業の経営、児童福祉施設及び老人福祉センターの経営、指定管理施設等の経営等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年9月26日（月）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の健康福祉部長同席の下、障がい福祉課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、障がい福祉課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙２）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 松本市社会福祉協議会

7 選定結果の概要

応募団体名		松本市社会福祉協議会	
区分	配点等	会	
一次評価	1 0 0	5 6 . 6 0	
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	3 0	1 5 . 2 0
	施設の運営	5 5	2 8 . 9 0
	経済性	1 5	1 2 . 5 0
二次評価	1 2 (2点×6人)	8 . 2 0	
合 計	1 1 2	6 4 . 8 0	
順 位		1	

※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙３のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

松本市社会福祉協議会は、当該施設の現指定管理者としての管理運営実績を有し、職員体制については基準の１．５～２倍の人員を配置し、手厚い支援を行っていることや、管理者とサービス管理責任者をそれぞれ配置し、責任の所在が明確となっている点、さらに、利用者の工賃アップによる満足度向上につなげるため、目標工賃達成指導員を配置して様々な取組みを行っている点が高く評価されました。

審議の結果、松本市社会福祉協議会を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 施設利用者の高齢化対策を今後も検討されたい。

以 上

(別紙 1)

松本市希望の家、松本市岡田希望の家
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への 対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的 事項	団体の 管理 能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	2				
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2	55			
	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3		3	19	
		業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	5		14		
			23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5				
			24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4				
		地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2		2		
	利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5		5	18	
		利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5		5		
		障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2		2		
苦情・要望への対応		29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3				
セルフモニタリング		30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3				
環境対策	環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1	5		
自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	3	5				
		33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2			
福祉施設項目	利用者の生活面への支援	35 通所により利用者の生活リズムが確立する様な方策等があるか	10	10	10			
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15	
		事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	38 配点×（当該提案納付金額／最高提案納付金額）	10				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市希望の家、松本市岡田希望の家
団体の審査評価総括表

区 分		配点	松本市社会福祉協議会
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	56.60
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	8.20
合 計		112	64.80
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(36.0/90点)		x > 36.0	46.60

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	松本市社会福祉協議会
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	2.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	4.20
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	14	7.00
		地域との連携	2	1.40
	利用者への対応	利用促進	5	2.50
		利用者サービス向上	5	3.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	5	2.50
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	福祉施設項目	利用者の生活面への支援	10	5.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	10	10.00
基本的事項合計			100	56.60
提案納付金額（年額：円）				2,847,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	松本市社会福祉協議会
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.90
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	2.10
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	2.30
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.90
プレゼンテーション等評価合計	12	8.20

松本市老人デイサービスセンターAグループ
(島内・島立デイサービスセンター)

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市老人デイサービスセンターAグループ（島内・島立デイサービスセンター）の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市老人デイサービスセンターAグループ（島内・島立デイサービスセンター）を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市老人デイサービスセンターAグループ

- ・ 松本市島内デイサービスセンター
- ・ 松本市島立デイサービスセンター

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制独立採算方式（納付金あり）

施設単位で事業年度ごとに、松本市公会計減価償却費相当額を松本市へ納付する。

各施設の松本市公会計減価償却費相当額

- ・ 松本市島内デイサービスセンター 2,950,000円/年
- ・ 松本市島立デイサービスセンター 4,570,000円/年

(3) 管理運営方針

ア 虚弱老人や要支援・要介護状態の高齢者に対して、自立的生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上、並びに利用者の家族の身体的・精神的な負担軽減を図るという、デイサービスセンターの設置目的に基づき管理運営を行うこと。

イ 公の施設であることを念頭において、管理者意識を持って公平な運営を行うこと。

ウ 高齢者の心身状態を理解し管理運営に当たって十分な配慮を行うとともに、利用者の意見を管理運営に反映させること。

エ 個人情報の保護を徹底すること。

オ 利用者からの苦情を解決する体制をとり、サービス向上に努めること。

カ 環境に配慮した運営を行うこと。

(4) 特記事項

現在、デイサービスセンターの管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性などを図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|----|----------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 8日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 15日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月 | 8日～7月29日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 8日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 26日 |

4 指定管理者応募団体名

社会福祉法人敬老園（以下「敬老園」という。）

代表者名 理事長 齋藤 剛志

所在地 上田市常磐城2256番地1

設立年 昭和48年

従業員数 1,174人

基本財産 717,543千円

主たる業務 第一種社会福祉事業（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、乳児院の経営）、

第二種社会福祉事業（老人短期入所事業、老人デイサービス事業、老人居宅介護等事業、障害福祉サービス事業、幼保連携型認定こども園の経営）等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月26日（水）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の健康福祉部長同席の下、
高齢福祉課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、高齢福祉課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 敬老園

7 選定結果の概要

応募団体名			敬老園
区分		配点等	
一次評価		100	56.60
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	15.00
	施設の運営	55	29.10
	経済性	15	12.50
二次評価		14 (2点×7人)	7.55
合 計		114	64.15
順 位			1

- ※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視
- ※ 団体の審査評価総括表は、別紙３のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

敬老園は、当該施設の現指定管理者として、安定した管理運営を行っており、特徴的な自主事業として、温泉の源泉を当該施設へ配送し利用者に温泉入浴サービスを無料で提供する取組みや、独居・老老世帯等の利用者向けに夕食持ち帰りサービスを行い、利用者サービスの向上に努めている点が高く評価されました。

審議の結果、敬老園を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 介護人材の確保・育成に努め、安定したサービス提供に努められたい。

以 上

(別紙 1)

松本市老人デイサービスセンターAグループ（島内・島立デイサービスセンター）
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点	
適性	管理基準への 対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否		
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否				
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否				
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否				
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否					
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否				
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否				
基本的 事項	団体の 管理能力	団体の概要	主たる業務内容 従業員数、経営実績	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
				9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか	2				
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5			
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2				
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6			
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3				
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1			
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2			
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2	6		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2				
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2						
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2					
	施設の 運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	19		
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	5	14			
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5				
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4				
				地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか			2	2
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5	5	18		
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5	5			
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2			
			苦情・要望への対応	29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
			セルフモニタリング	30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			
		環境対策	環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
		自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	3	5	5		
				33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2				
		特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		
		サービス提供	他の施設と比較して 特色のあるサービス 提供体制	35 他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制や取組みが具体的に示されているか	10	10	10		
		経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15
				事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2			
				提案価格	38 配点×（当該提案納付金額／最高提案納付金額）	10			
	【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)
松本市老人デイサービスセンターAグループ(島内・島立デイサービスセンター)
団体の審査評価総括表

区 分		配点	敬老園
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	56.60
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	7.55
合 計		114	64.15
提案価格を除く点数(x)＞失格判定(36.0/90点)		x＞36.0	46.60

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	敬老園
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	14	7.00
		地域との連携	2	1.00
	利用者への対応	利用促進	5	2.50
		利用者サービス向上	5	3.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	5	3.10
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	サービス提供	他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制	10	5.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	10	10.00
基本的事項合計			100	56.60
提案納付金額（年額：円）				7,520,000

<二次評価:プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	敬老園
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	1.85
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.95
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	2.00
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.75
プレゼンテーション等評価合計	14	7.55

松本市老人デイサービスセンターBグループ
(田川・芳川デイサービスセンター)

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市老人デイサービスセンターBグループ（田川・芳川デイサービスセンター）の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市老人デイサービスセンターBグループ（田川・芳川デイサービスセンター）を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市老人デイサービスセンターBグループ

- ・ 松本市田川デイサービスセンター
- ・ 松本市芳川デイサービスセンター

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制独立採算方式（納付金あり）

施設単位で事業年度ごとに、松本市公会計減価償却費相当額を松本市へ納付する。

各施設の松本市公会計減価償却費相当額

- ・ 松本市田川デイサービスセンター 3,700,000円/年
- ・ 松本市芳川デイサービスセンター 5,060,000円/年

(3) 管理運営方針

ア 虚弱老人や要支援・要介護状態の高齢者に対して、自立的生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上、並びに利用者の家族の身体的・精神的な負担軽減を図るという、デイサービスセンターの設置目的に基づき管理運営を行うこと。

イ 公の施設であることを念頭において、管理者意識を持って公平な運営を行うこと。

ウ 高齢者の心身状態を理解し管理運営に当たって十分な配慮を行うとともに、利用者の意見を管理運営に反映させること。

エ 個人情報の保護を徹底すること。

オ 利用者からの苦情を解決する体制をとり、サービス向上に努めること。

カ 環境に配慮した運営を行うこと。

(4) 特記事項

現在、デイサービスセンターの管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性などを図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|----|----------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 8日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 15日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月 | 8日～7月29日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 8日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 26日 |

4 指定管理者応募団体名

社会福祉法人敬老園（以下「敬老園」という。）

代表者名 理事長 齋藤 剛志

所在地 上田市常磐城2256番地1

設立年 昭和48年

従業員数 1,174人

基本財産 717,543千円

主たる業務 第一種社会福祉事業（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、乳児院の経営）、

第二種社会福祉事業（老人短期入所事業、老人デイサービス事業、老人居宅介護等事業、障害福祉サービス事業、幼保連携型認定こども園の経営）等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月26日（水）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の健康福祉部長同席の下、
高齢福祉課長から下記の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、高齢福祉課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 敬老園

7 選定結果の概要

応募団体名			敬老園
区分		配点等	
一次評価		100	56.60
大項目	適正	適／否	適
	団体の管理能力	30	15.00
	施設の運営	55	29.10
	経済性	15	12.50
二次評価		14 (2点×7人)	7.55
合 計		114	64.15
順 位			1

- ※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視
- ※ 団体の審査評価総括表は、別紙３のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

敬老園は、当該施設の現指定管理者として、安定した管理運営を行っており、特徴的な自主事業として、温泉の源泉を当該施設へ配送し利用者に温泉入浴サービスを無料で提供する取組みや、独居・老老世帯等の利用者向けに夕食持ち帰りサービスを行い、利用者サービスの向上に努めている点が高く評価されました。

審議の結果、敬老園を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 介護人材の確保・育成に努め、安定したサービス提供に努められたい。

以 上

(別紙 1)

松本市老人デイサービスセンターBグループ（田川・芳川デイサービスセンター）
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点	
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否		
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否				
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否				
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否				
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否					
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否				
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否				
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容 従業員数、経営実績	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
				9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか	2				
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5			
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2				
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6			
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3				
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1			
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2			
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2	6		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2				
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2						
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2					
	施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	19		
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	5	14			
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5				
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4				
			地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2			
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5	5	18		
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5	5			
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2			
			苦情・要望への対応	29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
			セルフモニタリング	30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			
		環境対策	環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
		自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	3	5	5		
				33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2				
			特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2	
		サービス提供	他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制	35 他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制や取組みが具体的に示されているか	10	10	10		
		経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15
				事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2			
				提案価格	38 配点×（当該提案納付金額／最高提案納付金額）	10			
	【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)
松本市老人デイサービスセンターBグループ(田川・芳川デイサービスセンター)
団体の審査評価総括表

区 分		配点	敬老園
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	56.60
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	7.55
合 計		114	64.15
提案価格を除く点数(x)＞失格判定(36.0/90点)		x＞36.0	46.60

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	敬老園
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	14	7.00
		地域との連携	2	1.00
	利用者への対応	利用促進	5	2.50
		利用者サービス向上	5	3.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	5	3.10
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	サービス提供	他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制	10	5.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	10	10.00
基本的事項合計			100	56.60
提案納付金額（年額：円）				8,760,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	敬老園
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	1.85
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.95
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	2.00
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.75
プレゼンテーション等評価合計	14	7.55

松本市老人デイサービスセンターCグループ
(東部・北部デイサービスセンター)

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市老人デイサービスセンターCグループ（東部・北部デイサービスセンター）の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市老人デイサービスセンターCグループ（東部・北部デイサービスセンター）を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市老人デイサービスセンターCグループ

- ・ 松本市東部デイサービスセンター
- ・ 松本市北部デイサービスセンター

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制独立採算方式（納付金あり）

施設単位で事業年度ごとに、松本市公会計減価償却費相当額を松本市へ納付する。

各施設の松本市公会計減価償却費相当額

- ・ 松本市東部デイサービスセンター 3,750,000円/年
- ・ 松本市北部デイサービスセンター 4,390,000円/年

(3) 管理運営方針

ア 虚弱老人や要支援・要介護状態の高齢者に対して、自立的生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上、並びに利用者の家族の身体的・精神的な負担軽減を図るという、デイサービスセンターの設置目的に基づき管理運営を行うこと。

イ 公の施設であることを念頭において、管理者意識を持って公平な運営を行うこと。

ウ 高齢者の心身状態を理解し管理運営に当たって十分な配慮を行うとともに、利用者の意見を管理運営に反映させること。

エ 個人情報の保護を徹底すること。

オ 利用者からの苦情を解決する体制をとり、サービス向上に努めること。

カ 環境に配慮した運営を行うこと。

(4) 特記事項

現在、デイサービスセンターの管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性などを図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|----|----------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 8日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 15日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月 | 8日～7月29日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 8日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 26日 |

4 指定管理者応募団体名

社会福祉法人松本市社会福祉協議会（以下「松本市社会福祉協議会」という。）

代表者名	会長 小林 弘明
所在地	松本市双葉4番16号
設立年	昭和27年
従業員数	467人
基本財産	9,000千円

主たる業務 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整及び助成、保健医療・教育その他社会福祉と関連する事業との連絡、居宅介護支援事業の経営、老人デイサービス事業の経営、特定相談支援事業・障がい児相談支援事業の経営、障がい福祉サービス事業の経営、児童福祉施設及び老人福祉センターの経営、指定管理施設等の経営等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会を開催

ア 開催日

令和4年10月26日（水）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の健康福祉部長同席の下、高齢福祉課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、高齢福祉課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 松本市社会福祉協議会

7 選定結果の概要

応募団体名		松本市社会福祉協議会	
区分		配点等	
一次評価		100	55.00
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	14.00
	施設の運営	55	28.50
	経済性	15	12.50
二次評価		14 (2点×7人)	7.50
合 計		114	62.50
順 位		1	

※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

松本市社会福祉協議会は、当該施設の現指定管理者として、長年にわたり地域に根差した管理運営を行っています。他の施設では対応困難なケースも、職員研修を実施しながら積極的に受け入れている点や、施設の社会化を念頭に、利用者の孤立感を避けるため施設を地域に開放して活性化を図るなど、利用者の立場に立った開かれた施設運営と良質なサービス提供に努める提案が高く評価されました。

審議の結果、松本市社会福祉協議会を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 介護人材の確保・育成に努め、安定したサービス提供に努められたい。

以 上

(別紙 1)

松本市老人デイサービスセンターCグループ（東部・北部デイサービスセンター）
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への 対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的 事項	団体の 管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		6
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の 運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3		19
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	5	14		
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5			
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4			
			地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2		
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5	5	18	
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5	5		
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
			苦情・要望への対応	29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3		
セルフモニタリング			30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
自主事業		自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	3	5	5		
	33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか		2					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2			
サービス提供	他の施設と比較して 特色のあるサービス 提供体制	35 他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制や取組みが具体的に示されているか	10	10	10			
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15	
		事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	38 配点×（当該提案納付金額／最高提案納付金額）	10				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)
松本市老人デイサービスセンターCグループ(東部・北部デイサービスセンター)
団体の審査評価総括表

区 分		配点	松本市社会福祉協議会
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	55.00
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	7.50
合 計		114	62.50
提案価格を除く点数(x)＞失格判定(36.0/90点)		x＞36.0	45.00

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	松本市社会福祉協議会
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	2.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	14	7.00
		地域との連携	2	1.00
	利用者への対応	利用促進	5	3.50
		利用者サービス向上	5	2.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	5	2.50
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	サービス提供	他の施設と比較して特色のあるサービス提供体制	10	5.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	10	10.00
基本的事項合計			100	55.00
提案納付金額（年額：円）				8,140,000

<二次評価:プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	松本市社会福祉協議会
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	1.75
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.85
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	2.05
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.85
プレゼンテーション等評価合計	14	7.50

松本市立松風園
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市立松風園の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市立松風園を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市立松風園

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制委託料併用方式（精算及び納付金あり）

本業務に係る当該年度の事業収支差額に定率（定率は1／2とする。）を乗じた額を松本市へ納付する。

(3) 管理運営方針

環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方等を入所させ、養護するとともに、入園者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行う。

ア 指定管理者は、上記の設置目的を踏まえ、公の施設としての適正な管理運営に努めること。

イ 老人福祉法（昭和38年法律第133号）の基本理念に基づき、園内の共同生活の円滑な運営により入園者の処遇の向上を図り、もって老人の福祉が増進されるよう事業の運営に努めること。

(4) 特記事項

ア 現在、本施設の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、当該施設入園者の安定的な生活維持を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

イ 本施設は、災害時の指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されているため、円滑な避難所の開設、運営ができるよう、避難所運営委員会への参画や災害時における本施設の開設に協力すること。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|----|----------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 1日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 8日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月 | 1日～7月22日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 1日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 19日 |

4 指定管理者応募団体名

社会福祉法人松本ハイランド（以下「松本ハイランド」という。）

代表者名 理事長 松澤 幹夫

所在地 松本市大字和田2240番地33

設立年 平成13年

従業員数 274人

基本金 845,189千円

主たる業務 第一種社会福祉事業（特別養護老人ホームの経営、養護老人ホームの受託経営）、第二種社会福祉事業（老人デイサービス事業・老人短期入所事業・老人居宅介護等事業・認知症対応型老人共同生活援助事業の経営）等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月17日（月）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、高齢福祉課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、高齢福祉課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 松本ハイランド

7 選定結果の概要

応募団体名			松本ハイランド
区分		配点等	
一次評価		100	58.20
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	15.00
	施設の運営	55	30.70
	経済性	15	12.50
二次評価		14 (2点×7人)	7.50
合 計		114	65.70
順 位			1

※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

松本ハイランドは、当該施設の現指定管理者であり、利用者への丁寧な聞き取りや多職種によるアセスメントを基に自立支援計画や介護支援計画を作成し、利用者の自己実現をサポートしている点が高く評価されました。

また、施設の中庭や集会室等を開放し、花き栽培や工作等の活動を利用者の意思で自由に行うことができる環境を用意するなど、利用者の意思を尊重した支援体制を整えている点や、公益活動として地域の公民館等の清掃を行ったり、花を育成してイベントに提供したりするなど、多彩な地域貢献活動に取り組んでいることも高く評価されました。

審議の結果、松本ハイランドを指定管理者候補者として選定しました。

以 上

(別紙 1)

松本市立松風園
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点	
適性	管理基準への 対応	市民の平等利用	1	市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2	公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3	労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4	災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5	指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6	個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7	情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の 管理能力	団体の概要	8	団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9	当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10	類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11	市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12	市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13	職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14	現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15	働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16	職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17	会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18				業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか	2			
	19		業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2				
	安全管理	20	事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の 運営	施設の運営	管理運営希望理由	21	施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	19	
			業務内容	22	管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	4	13		
				23	施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5			
				24	年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4			
			地域との連携	25	地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	3	3		
		利用者への対応	利用促進	26	施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5	5	18	
			利用者サービス向上	27	利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5	5		
			障がい者等への配慮	28	障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
			苦情・要望への対応	29	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3		
			セルフモニタリング	30	セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3		
		環境対策	環境への配慮	31	エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1	
		自主事業	自主事業計画	32	サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	1	2	2	
				33	必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	1			
		特記事項	特記事項への対応	34	募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2	
		支援体制	利用者の意思を尊重した支援体制	35	利用者の意思を尊重した支援体制や取組みが具体的に示されているか。	13	13	13	
経済性		経済性	経費節減・業務効率化	36	経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15
			事業計画書及び収支予算書	37	施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2			
			提案価格	38	配点×（当該提案納付金額／最高提案納付金額）	10			
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100	

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市立松風園
団体の審査評価総括表

区 分		配点	松本ハイランド
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	58.20
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	7.50
合 計		114	65.70
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(36.0/90点)		x > 36.0	48.20

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	松本ハイランド
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	13	6.50
		地域との連携	3	2.10
	利用者への対応	利用促進	5	2.50
		利用者サービス向上	5	2.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	2	1.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	支援体制	利用者の意思を尊重した支援体制	13	9.10
	経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3
事業計画書及び収支予算書			2	1.00
提案価格			10	10.00
基本的事項合計			100	58.20
提案納付金額（年額：円）				25,080,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	松本ハイランド
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	1.95
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.75
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	1.75
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	2.05
プレゼンテーション等評価合計	14	7.50

松本市南部老人福祉センター
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市南部老人福祉センターの
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市南部老人福祉センターを効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

- 1 施設の名称
松本市南部老人福祉センター
- 2 主な募集条件
 - (1) 指定期間
令和5年4月1日～令和8年3月31日
 - (2) 管理経費
委託料方式
指定期間中の委託料上限額 25,350千円
 - (3) 管理運営方針
老人福祉法及び地方自治法に基づき、地域の高齢者に対し、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者の健康で明るい生活を支援すること。
 - (4) 特記事項
ア 松本市総合社会福祉センターを管理する指定管理者や、松本市総合社会福祉センター内にある福祉施設の指定管理者等と良好な関係を維持し、利用者の利便性や施設の有効活用が図られるようにすること。
イ 現在、本施設の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。
- 3 募集の主な経過

(1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等	令和4年	7月	1日
(2) 説明会	令和4年	7月	8日
(3) 質問受付	令和4年	7月11日～	7月22日
(4) 質問回答	令和4年	8月	1日
(5) 申請書類提出締切	令和4年	8月19日	
- 4 指定管理者応募団体名
社会福祉法人松本市社会福祉協議会（以下「松本市社会福祉協議会」という。）

代表者名	会長 小林 弘明
所在地	松本市双葉4番16号
設立年	昭和27年
従業員数	467人
基本財産	9,000千円
主たる業務	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整及び助成、保健医療・教育その他社会福祉と関連する事業との連絡、居宅介護支援事業の経営、老人デイサービス事業の経営、特定相談支援事業・障がい児相談支援事業の経営、障がい福祉サービス事業の経営、児童福祉施設及び老人福祉センターの経営、指定管理施設等の経営等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月11日（火）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の健康福祉部長同席の下、
高齢福祉課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、高齢福祉課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準
に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲
げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から
協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定
しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 松本市社会福祉協議会

7 選定結果の概要

応募団体名		松本市社会福祉協議会	
区分	配点等	会	
一次評価	100	55.00	
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	14.60
	施設の運営	55	27.90
	経済性	15	12.50
二次評価	12 (2点×6人)	6.00	
合計	112	61.00	
順位		1	

※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

松本市社会福祉協議会は、当該施設の現指定管理者としての管理運営実績を有しており、当該施設が所在する総合社会福祉センター内に当該団体の事務所等があることから、迅速かつ適切なサポート・バックアップ体制がある点が高く評価されました。

また、高齢者クラブ等を通じた高齢者が担い手となる児童の見守り活動を地域で展開するほか、新たな自主事業として、子どもと高齢者の世代間交流イベントを行い、世代を超えたつながりや相互理解を育む提案があることも高く評価されました。

審議の結果、松本市社会福祉協議会を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 新たな視点で、デジタル化に即した高齢者の学び等も検討しながら、高齢者のニーズの変化を読み取り、魅力的な講座開設等に努められたい。

以 上

(別紙 1)

松本市南部老人福祉センター
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	19	
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	5	14		
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5			
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4			
			地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2		
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5	5	18	
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5	5		
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
苦情・要望への対応			29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
セルフモニタリング			30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
自主事業		自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	3	5	5		
			33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2				
特記事項		特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		
プラチナ大学の充実		高齢者の学習機会への対応	35 プラチナ大学について、新たな視点で魅力的な講座開講の計画があるか	10	10	10		
経済性		経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15
	事業計画書及び収支予算書		37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
	提案価格		38 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	10				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市南部老人福祉センター
団体の審査評価総括表

区 分		配点	松本市社会福祉協議会
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	55.00
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	6.00
合 計		112	61.00
提案価格を除く点数(x)＞失格判定(36.0/90点)		x＞36.0	45.00

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	松本市社会福祉協議会
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	2.20
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.40
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	14	7.00
		地域との連携	2	1.40
	利用者への対応	利用促進	5	2.50
		利用者サービス向上	5	2.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	5	2.50
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	プラチナ大学の充実	高齢者の学習機会への対応	10	5.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	10	10.00
基本的事項合計			100	55.00
提案価格（3年間総額：円）				25,350,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	松本市社会福祉協議会
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.50
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	1.30
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	1.60
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.60
プレゼンテーション等評価合計	12	6.00

松本市四賀環境学習の森
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市四賀環境学習の森の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市四賀環境学習の森を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市四賀環境学習の森

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和8年3月31日

(2) 管理経費

委託料方式

指定期間中の委託料上限額 16,080千円

(3) 管理運営方針

ア 指定管理対象施設の設置目的に基づき管理運営を行うこと。

イ 公の施設としての役割を十分に認識し、公平な管理運営を行うこととし、特定の者に有利、あるいは不利になる運営を行わないこと。

ウ 施設の設置目的に基づき、施設の使用率向上のため、施設使用に係る周知活動に努めるとともに、施設、設備及び備品を活かした自主事業を積極的に実施すること。

エ 施設等の管理及び修繕は、安全かつ快適な使用に直結することから、専門業者へ発注するだけでなく、指定管理者自らが修繕技術等を習得し、迅速な現場対応及び経費の削減に努めること。

オ 地域住民及び松本市緑ヶ丘ラインガルテンの利用者等との良好な関係を維持すること。

カ 松本市四賀環境学習の森の施設使用及び管理については、松本市緑ヶ丘ラインガルテンと連携が必要であるため、松本市緑ヶ丘ラインガルテンの指定管理者と十分調整の上、両施設の円滑な管理運営に努めることとし、市が必要と認める場合は、その指示に従うこと。

(4) 特記事項

ア 現在、松本市四賀環境学習の森の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性等を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

イ 松本市四賀環境学習の森は、令和8年度以降の施設の在り方について、廃止を含めた検討を進めており、令和6年12月末までに方針を決定する予定

ウ 指定期間中、各年度12月1日から3月31日までの4か月間は、市民等による施設の使用を休止する。この休止期間中の指定管理業務は、原則、施設等の最低限の維持管理業務及び緊急時対応のみとなる。

エ 指定管理期間内において、上記イの施設の在り方の検討結果に伴い、施設の維持、管理及び運営に関する方針等に変更が生じた場合は、指定申請受付時の募集条件から変更となる場合がある。このときは、市及び指定管理者が協議を行い、業務内容及び指定管理料の変更を行うこととする。

オ 松本市四賀環境学習の森内の施設である「交流促進センター」は市指定避難所であるため、災害発生時は、指定管理業務に優先して指定避難所として使用することとなる。

3 募集の主な経過

- | | | |
|-------------------------|------|--------------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月22日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 8月 2日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 8月 3日～ 8月 9日 |

(4) 質問回答

令和4年 8月18日

(5) 申請書類提出締切

令和4年 8月26日

4 指定管理者応募団体名

四賀むらづくり株式会社

代 表 者 代表取締役 常田 兼弘

所 在 地 松本市取出481番地1

設 立 年 平成7年

従 業 員 数 28人

資 本 金 55,700千円

主たる業務 市民農園・公共施設の管理及び運営の受託業務、ホテル・旅館及び飲食店の経営、浄化槽の設計・施工・清掃・保守・点検並びに管理業務、堆肥の製造並びに販売等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月25日（火）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、三好規正委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の環境エネルギー部長同席の下、森林環境課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、森林環境課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 四賀むらづくり株式会社

7 選定結果の概要

応募団体名		四賀むらづくり株式会社	
区分		配点等	
一次評価		100	62.70
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	12.70
	施設の運営	35	17.50
	経済性	35	32.50
二次評価		14 (2点×7人)	5.45
合 計		114	68.15
順 位		1	

※ 施設分類・・・【A a】施設管理型×稼働率重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

四賀むらづくり株式会社は、当該施設及び市内クラインガルテン2施設の指定管理実績を有しています。団体の財務状況に改善の必要はありますが、四賀地区内に本社があり、人員のサポート・バックアップ体制がある点が評価されました。

審議の結果、四賀むらづくり株式会社を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 団体の財務状況の早期改善に努められたい。
- ・ 施設のメンテナンスに力を入れ、利用者の期待に応えられたい。
- ・ 里山を生かした環境学習やグリーンツーリズム等により、施設のさらなるPRと活性化を図られたい。

以 上

松本市四賀環境学習の森
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Aa】施設管理型×稼働率重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容 従業員数、経営実績	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30
				9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1			
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか	2			
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2	6	
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか	2						
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか	2						
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2	35			
	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3		11	16	
		業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	4				
			23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	4				
			24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3				
		地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2		2		
	利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	3		14	35	
		利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3				3
		障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2				2
苦情・要望への対応		29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3				
セルフモニタリング		30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3				
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1		1		1
自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	1	2		2		
		33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	1					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2			
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	35 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	35	35	35	
		事業計画書及び収支予算書	36 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	37 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	30				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市四賀環境学習の森
団体の審査評価総括表

区 分		配点	四賀むらづくり 株式会社
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	62.70
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	5.45
合 計		114	68.15
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(28.0/70点)		x > 28.0	32.70

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	四賀むらづくり株式会社
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	0.70
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	11	5.50
		地域との連携	2	1.00
	利用者への対応	利用促進	3	1.50
		利用者サービス向上	3	1.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	2	1.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	30	30.00
基本的事項合計			100	62.70
提案価格（3年間総額：円）				16,080,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	四賀むらづくり 株式会社
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	1.35
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.35
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	1.65
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.10
プレゼンテーション等評価合計	14	5.45

松本市リサイクルセンター
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市リサイクルセンターの指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市リサイクルセンターを効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

- 1 施設の名称
松本市リサイクルセンター
- 2 主な募集条件
 - (1) 指定期間
令和5年4月1日～令和10年3月31日
 - (2) 管理経費
委託料方式
指定期間中の委託料上限額 172,000千円
 - (3) 管理運営方針
ア 松本市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び同施行規則等に基づき管理運営すること。
イ 指定管理対象施設の設置目的に基づき管理運営すること。
ウ 公の施設としての役割を十分に認識し、公平に管理運営（特定の者に有利、あるいは不利になる運営の排除）すること。
エ 多様化する住民ニーズに対応し、創意工夫の上、質の高いサービスを提供するとともに、効率的な管理運営に努めること。
オ 利用者、地域住民等との良好な関係を維持すること。
 - (4) 特記事項
現在、松本市リサイクルセンターの管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。
- 3 募集の主な経過

(1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等	令和4年	7月	1日
(2) 説明会	令和4年	7月	13日
(3) 質問受付	令和4年	7月14日～	7月20日
(4) 質問回答	令和4年	7月	27日
(5) 申請書類提出締切	令和4年	8月	19日
- 4 指定管理者応募団体名
 中信リサイクル事業協同組合
 代 表 者 代表理事 百瀬 豊
 所 在 地 松本市大字島内9833番地2
 設 立 年 昭和54年
 従 業 員 数 12人
 資 本 金 2,800千円
 主たる業務 ペットボトル・雑びん収集運搬及び中間処理施設
 資源物収集
 松本市リサイクルセンターの管理運営等
- 5 選定審議の内容
 - (1) 選定審議会の開催
ア 開催日
令和4年9月26日（月）【於：松本市役所第二応接室】
イ 出席委員（五十音順）
大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の環境エネルギー部長同席の下、環境業務課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙１）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、環境業務課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙２）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 中信リサイクル事業協同組合

7 選定結果の概要

応募団体名			中信リサイクル事業
区分		配点等	協同組合
一次評価		100	63.40
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	15.80
	施設の運営	45	25.10
	経済性	25	22.50
二次評価		12 (2点×6人)	4.75
合 計		112	68.15
順 位			1

※ 施設分類・・・【A b】施設管理型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙３のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

中信リサイクル事業協同組合は、当該施設の現指定管理者として、安定した管理運営実績を有しており、蓄積されたノウハウに基づく提案が評価されました。責任者や重機免許保持者の配置など、適切な人員配置が明示されている点や、繁忙期にはストックヤードとペットボトルの中間処理業の従業員が相互に協力し合える体制となっていることが高く評価されました。

審議の結果、中信リサイクル事業協同組合を指定管理者候補者として選定

しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 団体の財務状況の改善に努力されたい。
- ・ 業務に関する知識や経験、技術等を基に、マニュアル等のさらなる充実に取り組まれたい。

以 上

(別紙 1)

松本市リサイクルセンター
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Ab】施設管理型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点	
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1	市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2	公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3	労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4	災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5	指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6	個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7	情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8	団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9	当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10	類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11	市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12	市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13	職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14	現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15	働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16	職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17	会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18				業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか	2			
	19		業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2				
	安全管理	20	事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	21	施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	16	
			業務内容	22	管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	4	11		
				23	施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	4			
				24	年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3			
			地域との連携	25	地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2		
		利用者への対応	利用促進	26	施設の利用率の向上を図る方策等があるか	3	3	14	
			利用者サービス向上	27	利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3	3		
			障がい者等への配慮	28	障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
苦情・要望への対応			29	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
セルフモニタリング			30	セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			
環境対策		環境への配慮	31	エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
自主事業		自主事業計画	32	サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	2	4	4		
			33	必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2				
特記事項		特記事項への対応	34	募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		
利用者への対応		利用者サービス向上	35	一般廃棄物の分別指導、回収場所の指示誘導が適切にできるか	8	8	8		
経済性		経済性	経費節減・業務効率化	36	経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	25	25	25
	事業計画書及び収支予算書		37	施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
	提案価格		38	配点×（最低提案価格／当該提案価格）	20				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100	

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市リサイクルセンター
団体の審査評価総括表

区 分		配点	中信リサイクル事業協同組合
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	63.40
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	4.75
合 計		112	68.15
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(32.0/80点)		x > 32.0	43.40

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	中信リサイクル事業協同組合
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	2.20
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.40
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	4.20
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	11	6.10
		地域との連携	2	1.00
	利用者への対応	利用促進	3	2.10
		利用者サービス向上	3	1.50
		障がい者等への配慮	2	1.40
		苦情・要望への対応	3	2.10
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	4	2.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.40
	利用者への対応	利用者サービス向上	8	4.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	20	20.00
基本的事項合計			100	63.40
提案価格（5年間総額：円）				170,000,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	中信リサイクル事業協同組合
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.05
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	1.25
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	1.15
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.30
プレゼンテーション等評価合計	12	4.75

松本市営松本城大手門駐車場
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市営松本城大手門駐車場の
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市営松本城大手門駐車場を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市営松本城大手門駐車場

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和9年3月31日

(2) 管理経費

委託料方式

指定期間中の委託料上限額 171,120千円

(3) 管理運営方針

ア 中心市街地への来街者及び観光客の来訪機会を創出し、商業及び観光の活性化を図ることを目的とする。

イ 指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを提供し、利用者が安心して使用できる、地域に根ざした施設づくりを行うこと。

ウ 利用者が安全・快適に本施設を利用できるよう、施設及び設備について、常に良好な状態を保つよう維持管理すること。

(ア) 利用者の安全確保を図ること。

(イ) 利用者への対応は、親切・丁寧を心がけること。

(ウ) 利用者のニーズを常に把握し、管理運営に反映するよう努めること。

(エ) 施設内を清潔に保持するとともに、管理経費の削減に努めること。

(4) 特記事項

現在、松本市営松本城大手門駐車場の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

3 募集の主な経過

(1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等	令和4年	7月	1日
(2) 説明会	令和4年	7月	13日
(3) 質問受付	令和4年	7月14日～	7月21日
(4) 質問回答	令和4年	7月	28日
(5) 申請書類提出締切	令和4年	8月	19日

4 指定管理者応募団体名

TOY BOX

代 表 者	松本土建株式会社 代表取締役 大池 太士
所 在 地	松本市大字島立635番地1
共同体構成団体	松本土建株式会社、株式会社アイネット、 株式会社コンフォール、ルピナ中部工業株式会社
従 業 員 数	619人（共同体合計）
資 本 金	210,000千円（共同体合計）
主たる業務	指定管理事業

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月25日（火）【於：松本市役所第二応接室】

- イ 出席委員（五十音順）
板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、三好規正委員、山本綾子委員
- (2) 選定審査の方法
- ア 書類審査
団体からの申請書類について、施設所管部の産業振興部長同席の下、
商工課長から次の報告を受け、質疑を行いました。
(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。
(イ) 選定審査基準（別紙１）に基づく一次評価
- イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答
団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内
容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。
- ウ 一次評価
申請書類、商工課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲
げる審査項目について評価を行いました。
- エ 二次評価
団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲
げる審査項目について評価を行いました。
- オ 最終審議
一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から
協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定
しました。
なお、評価表の作成は、採点要領（別紙２）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 TOY BOX

7 選定結果の概要

応募団体名			TOY BOX
区分		配点等	
一次評価		100	67.40
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	16.00
	施設の運営	35	18.30
	経済性	35	33.10
二次評価		14 (2点×7人)	7.95
合 計		114	75.35
順 位			1

※ 施設分類・・・【A a】施設管理型×稼働率重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙３のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

TOY BOXは、当該施設のほか市内スポーツ施設や公園施設等の現指定管理者としての管理運営実績を有しており、共同体構成団体が全て市内に所在し、十分なサポート・バックアップ体制が整っていることに加え、危機管理マニュアル集の整備や防災訓練の実施等、安全管理に対する意識の高さ

が高く評価されました。

また、施設の設置目的を十分理解し、周辺施設との連携やインターネットを活用した積極的な情報発信により観光客等の来訪機会を創出する高い意欲がある点や、異業種共同体という強みを生かし、施設の自主修繕を積極的に行うことで経費削減につなげている点も高く評価されました。

審議の結果、T O Y B O Xを指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・コロナの終息や市立博物館の開館により、今後利用者の増加も見込まれるため、一層の努力と創意工夫を継続されたい。

以 上

(別紙 1)

松本市営松本城大手門駐車場
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Aa】施設管理型×稼働率重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への 対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の 管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		6
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2	35			
	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3		3	16	
		業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	4		11		
			23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	4				
			24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3				
			地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか			2	2
	利用者への 対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	3		3	14	
		利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3		3		
障がい者等への配慮		28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2				
苦情・要望への対応		29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3				
セルフモニタリング		30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3				
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1		1	1	
自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	1	2		2		
		33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	1					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2		2		
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	35 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3		35	35	35
		事業計画書及び収支予算書	36 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	37 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	30				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市営松本城大手門駐車場
団体の審査評価総括表

区 分		配点	TOY BOX
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	67.40
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	7.95
合 計		114	75.35
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(28.0/70点)		x > 28.0	37.40

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	TOY BOX
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.20
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.40
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.40
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	11	5.50
		地域との連携	2	1.40
	利用者への対応	利用促進	3	2.10
		利用者サービス向上	3	1.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.30
	自主事業	自主事業計画	2	1.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	2.10
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	30	30.00
基本的事項合計			100	67.40
提案価格（4年間総額：円）				171,120,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	TOY BOX
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	2.20
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.75
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	2.25
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.75
プレゼンテーション等評価合計	14	7.95

松本市梓水苑、松本市梓川地域休養施設
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市梓水苑及び松本市梓川地域休養施設の
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市梓水苑及び松本市梓川地域休養施設を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市梓水苑、松本市梓川地域休養施設

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制独立採算方式（納付金あり）

納付額は収益（自主事業を除く。）の2分の1と減価償却費を比較し低い方を納めるものとし、1円未満は切り捨てとする。

(3) 管理運営方針

ア 松本市梓水苑条例及び同施行規則等に基づき管理運営すること。

イ 松本市梓川地域休養施設条例及び同施行規則等に基づき管理運営すること。

ウ 観光施設としての目的を十分に把握し、施設の効用を高める管理運営に努めること。

エ 公の施設としての役割を十分に認識し、公平に管理運営（特定の者に有利、あるいは不利になる運営の排除）すること。

オ 多様化する住民、顧客ニーズに効果的及び効率的に対応し、創意工夫の上、質の高いサービスの提供、利用者へのサービスの向上を行いながら、収支の均衡がとれた管理運営に努めること。

カ 利用者、地域住民及び観光団体等と良好な関係を維持すること。

(4) 特記事項

ア 本施設のほか、上大妻農村公園（施設敷地内）を一体的に管理することを条件とする。

イ 現在、松本市梓水苑及び松本市梓川地域休養施設の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

ウ 指定管理者による施設の改修計画又は施設及び土地の今後の活用展望がある場合は提示すること。

エ 指定管理者の自主事業として、施設の効用を最大限活かすための料理提供（宿泊及びレストラン、宴会等）の提案を可能な範囲で行うこと。

3 募集の主な経過

(1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等	令和4年	7月	1日
(2) 説明会	令和4年	7月	19日
(3) 質問受付	令和4年	7月20日～	7月26日
(4) 質問回答	令和4年	8月	2日
(5) 申請書類提出締切	令和4年	8月	19日

4 指定管理者応募団体名

エア・ウォーター梓川地域開発共同体

代 表 者 エア・ウォーター東日本株式会社
代表取締役社長 田中 豪

所 在 地 松本市大字梓川倭3878番地1

共同体構成団体 エア・ウォーター東日本株式会社
エア・ウォーター株式会社

従 業 員 数 2,292人（共同体合計）

資 本 金 57,855百万円（共同体合計）
主たる業務 指定管理事業

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会を開催

ア 開催日

令和4年9月28日（水）【於：松本市役所第一応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、古川智史委員、
三好規正委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の文化観光部長同席の下、
観光プロモーション課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内
容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、観光プロモーション課による一次評価結果報告を基に、選
定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲
げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から
協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定
しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 エア・ウォーター梓川地域開発共同体

7 選定結果の概要

応募団体名		エア・ウォーター梓川地域開発共同体
区分		配点等
一次評価		10059.70
大項目	適性	適／否適
	団体の管理能力	3016.40
	施設の運営	5530.80
	経済性	1512.50
二次評価		127.10 (2点×6人)
合 計		11266.80
順 位		1

※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

エア・ウォーター梓川地域開発共同体は、当該施設の現指定管理者としての管理運営実績を有しており、梓川地区内に支社及びグループ会社等のサポート・バックアップ体制が整っている点や、市や関係団体等と緊密に連携して事業に取り組む姿勢が高く評価されました。

また、障がい者・子ども・高齢者等の利用に配慮した施設管理や、疾患のある方の旅行や施設利用を見据えた提案が評価されたほか、地域住民を対象とした各種健康運動教室等に加え、県内外からの誘客につながる梓川でのラフティング体験、レストラン事業等、多彩な自主事業を積極的に展開している点が特に高く評価されました。

審議の結果、エア・ウォーター梓川地域開発共同体を指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 当該施設の収支について、できるだけ早期の黒字化を目指して管理運営に取り組まれない。

以 上

(別紙 1)

松本市梓水苑、松本市梓川地域休養施設
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				1
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	4	7		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	3			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	2	4		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2	55			
	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3		3	19	
		業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	5		14		
			23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	5				
			24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4				
		地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2		2		
	利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5		5	18	
		利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5		5		
		障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2		2		
苦情・要望への対応		29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3				
セルフモニタリング		30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3				
環境対策	環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1	7		
自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	5	7				
		33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	2					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2			
観光振興	観光事業の振興	35 県内外の観光客への利用促進、誘客活動がされているか	8	8	8			
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	15	15	15	
		事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	38 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	10				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市梓水苑、松本市梓川地域休養施設
団体の審査評価総括表

区 分		配点	エア・ウォーター梓川地域 開発共同体
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	59.70
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	7.10
合 計		112	66.80
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(36.0/90点)		x > 36.0	49.70

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	エア・ウォーター梓川地域 開発共同体
団体の 管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	7	3.90
		類似施設・関連業務等の実績	1	0.50
	管理運営	管理運営方針	7	4.10
		組織・体制	4	2.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.40
		安全管理	2	1.00
施設の 運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	14	7.00
		地域との連携	2	1.40
	利用者への対応	利用促進	5	2.50
		利用者サービス向上	5	2.50
		障がい者等への配慮	2	1.40
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	3	1.50
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	7	6.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	観光振興	観光事業の振興	8	4.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	10	10.00
基本的事項合計			100	59.70
提案価格（5年間総額：円）				—

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	エア・ウォーター梓川地域 開発共同体
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.50
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	1.90
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	1.90
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.80
プレゼンテーション等評価合計	12	7.10

松本市野球場、松本市四賀球場
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市野球場及び松本市四賀球場の
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市野球場及び松本市四賀球場を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市野球場、松本市四賀球場

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

委託料方式

指定期間中の委託料上限額 359,550千円

(3) 管理運営方針

ア 指定管理対象施設の設置目的に基づき管理運営を行うこと。

イ 市民の健康の増進を目的として設置された公の施設としての役割を十分に認識し、公平な管理運営を行うこととし、特定の団体や個人等に有利に、あるいは不利になるような運営を行わないこと。

ウ 施設の設置目的を最大限に発揮することを目指し、適切な管理運営に努めること。

エ 多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応できるよう、創意工夫の上、質の高いサービスの提供に努め、利用者へのサービスの向上を図るとともに、経費削減等の効率的な管理運営に努めること。

オ 利用者等の意見・要望を管理運営に反映させること。

カ 施設利用者の安全確保を第一とし、また利用者が快適に利用できるよう、各種設備の適切な保守点検を行い、適正な維持管理に努めること。

キ 利用者、地域住民等と良好な関係を維持すること。

ク 個人情報の保護について、十分配慮すること。

ケ 施設の円滑な運営はもちろんのこと、緑地、駐車場等についても、常に環境美化（除草、清掃、樹木管理を含む）に努めること。

(4) 特記事項

ア 野球場等を一体的に管理することを条件とする。

イ 野球場は、災害時の指定緊急避難所及び指定避難所に指定されている。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|--------|-------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 1日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 19日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月20日～ | 7月26日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 3日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 19日 |

4 指定管理者応募団体名

信州グリーン・シミズオクトグループ

代 表 者 株式会社信州グリーン
代表取締役 藤原 繁幸

所 在 地 松本市大字島内1259番地137

共同体構成団体 株式会社信州グリーン
株式会社シミズオクト

従 業 員 数 1,478人（共同体合計）

資 本 金 120,000千円（共同体合計）

主たる業務 総合建設業、造園土木工事一式、植物の維持管理、スポーツグラウンドの設計・施工・管理、指定管理業務、会場設営及び会場トータル管理運営、施設サービス（清掃・設備保守管理・常駐警備）、セキュリティサービス、来場者サービス、イベント企画制作等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会を開催

ア 開催日

令和4年9月28日（水）【於：松本市役所第一応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、古川智史委員、三好規正委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の文化観光部長同席の下、スポーツ推進課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、スポーツ推進課による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 信州グリーン・シミズオクトグループ

7 選定結果の概要

応募団体名		信州グリーン・シミズオクトグループ	
区分		配点等	
一次評価		100	67.20
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	15.40
	施設の運営	35	19.30
	経済性	35	32.50
二次評価		12 (2点×6人)	6.80
合 計		112	74.00
順 位		1	

※ 施設分類・・・【A a】施設管理型×稼働率重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

信州グリーン・シミズオクトグループは、松本市野球場の現指定管理者としての管理運営実績や、松本市四賀球場の管理業務受託者としての管理実績を有しており、天然芝管理についても専門的知識や豊富な実績を有し、管理計画も明確に示されている点が高く評価されました。

また、地元野球関係者や地域大学と連携し、市内保育園児等を対象にボール感覚を養う野球教室を開催する「遊ボール松本プロジェクト」を7年間継続しており、地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢も高く評価されました。

審議の結果、信州グリーン・シミズオクトグループを指定管理者候補者として選定しました。

以 上

(別紙 1)

松本市野球場、松本市四賀球場
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Aa】施設管理型×稼働率重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2	14	35		
	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3			3	
		業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	3			9	
			23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	3				
			24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3				
	地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2			13	
	利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	3				3
		利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3				3
		障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2				2
苦情・要望への対応		29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3				
セルフモニタリング		30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	2	2				
環境対策	環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1	2		
自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	1	2				
		33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	1					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		3	
天然芝管理	天然芝管理計画	35 天然芝グラウンドの適正な管理を行うことができるか	3	3	3	35		
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	35		35	35
		事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	38 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	30				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市野球場、松本市四賀球場
団体の審査評価総括表

区 分		配点	信州グリーン・シミズオクトグループ
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	67.20
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	6.80
合 計		112	74.00
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(28.0/70点)		x > 28.0	37.20

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	信州グリーン・シミズオクトグループ
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.40
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	2.10
		業務内容	9	4.50
		地域との連携	2	1.40
	利用者への対応	利用促進	3	1.50
		利用者サービス向上	3	1.50
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	2	1.00
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	2	1.20
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	天然芝管理	天然芝管理計画	3	2.10
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	30	30.00
基本的事項合計			100	67.20
提案価格（5年間総額：円）				359,000,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	信州グリーン・シミズオクトグループ
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.60
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	1.50
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	1.90
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.80
プレゼンテーション等評価合計	12	6.80

松本市四賀B & G海洋センター、松本市波田B & G海洋センター
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市四賀B & G海洋センター及び松本市波田B & G海洋センターの
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市四賀B & G海洋センター及び松本市波田B & G海洋センターを効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ2団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市四賀B & G海洋センター、松本市波田B & G海洋センター

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制委託料併用方式

指定期間中の委託料上限額 195,350千円

(3) 管理運営方針

ア 指定管理対象施設の設置目的に基づき運営を行うこと。

イ 市民の健康の増進を目的として設置された公の施設としての役割を十分に認識し、公平な管理運営を行うこととし、特定の者に有利に、あるいは不利になる運営を行わないこと。

ウ 施設の設置目的を最大限に発揮することを目指し、適切な管理運営に努めること。

エ 多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応できるよう、創意工夫の上、質の高いサービス提供に努め、利用満足度の向上を図るとともに、経費削減等の効率的な管理運営に努めること。

オ 利用者等の意見・要望を管理運営に反映させること。

カ 利用者が快適に利用できるよう、各種設備の適切な保守点検を行い、適正な維持管理に努めること。

キ 利用者、地域住民等と良好な関係を維持すること。

ク 個人情報について、十分配慮するとともに、監査や情報公開請求に対応できるようにすること。

ケ 施設内だけでなく、緑地、駐車場についても環境美化に努めること。

(4) 特記事項

ア 松本市四賀B & G海洋センター及び松本市波田B & G海洋センターを一体的に管理することを条件とする。

イ 現在の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の安定性及び継続性等を図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

ウ 2050ゼロカーボン化に向け、施設内照明のLED化改修を2030年までに予定

エ 松本市四賀B & G海洋センターは、災害時の指定緊急避難場所に指定されている。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|--------|-------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 1日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 19日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月20日～ | 7月26日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 8月 | 3日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 19日 |

4 指定管理者応募団体名

- (1) シンコーススポーツ株式会社（以下「シンコーススポーツ」という。）

代 表 者 代表取締役 石崎 健太

所 在 地 東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番1号

設 立 年 昭和53年
 従 業 員 数 4,094人
 資 本 金 50,000千円
 主たる業務 スポーツ施設の運営管理、スポーツ施設に関するコンサル
 ティング業務、スポーツイベント等の企画・設計・管理、
 健康体力づくり等スポーツに関する指導業務、スポーツに
 関する講習会の開催、スポーツ用品の販売、建物総合管理
 及び警備業務の請負、飲食店の経営、労働者派遣事業等

(2) 株式会社スポーツプラザ報徳（以下「スポーツプラザ報徳」という。）

代 表 者 代表取締役 安藤 博二
 所 在 地 神奈川県小田原市堀之内458番地
 設 立 年 昭和62年
 従 業 員 数 617人
 資 本 金 100,000千円
 主たる業務 水泳・ダイビング・柔剣道・スキー・体操教室及びスポ
 ーツクラブ経営並びに管理運営、建築工事・土木工事・管
 工事の企画・設計・施工・監理、スポーツに関する興業の
 企画・実施、屋内外プール・スポーツ施設の設計施工及び
 管理運営並びに清掃業務、スポーツインストラクターの養
 成並びに派遣、スポーツ用品用具・遊具の販売等

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会を開催

ア 開催日

令和4年9月28日（水）【於：松本市役所第一応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、古川智史委員、
三好規正委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の文化観光部長同席の下、
スポーツ推進課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内
容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、スポーツ推進課による一次評価結果報告を基に、選定審査
基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲
げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から
協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定
しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 スポーツプラザ報徳

7 選定結果の概要

応募団体名			シンコースポーツ	スポーツプラザ報徳
区分		配点等		
一次評価		100	68.00	67.58
大項目	適性	適／否	適	適
	団体の管理能力	30	16.00	15.20
	施設の運営	35	19.50	20.10
	経済性	35	32.50	32.28
二次評価		12 (2点×6人)	6.20	6.70
合 計		112	74.20	74.28
順 位			2	1

※ 施設分類・・・【A a】施設管理型×稼働率重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

シンコースポーツは、県内のスポーツ施設をはじめ、全国のB&G施設における十分な管理運営実績を有している点が高く評価されました。また、利用者サービス向上策として、子ども向けエアー遊具の設置やシニア向けアプリの活用、プール利用者全員を対象とした無料運動教室を行う独自の提案や、セルフモニタリングの詳細な計画等も高く評価されましたが、採点の結果、僅差で申請団体中第2位の得点となりました。

スポーツプラザ報徳は、本市において7施設の指定管理実績を有しており、市内に支店を置き、当該施設の管理運営をサポート・バックアップする体制が整っている点や、地域貢献につながる運営を心掛けている点が高く評価されました。また、新たな運動プログラムの導入や、施設利用及び運動の継続を支援する利用者サービス向上を図る計画も高く評価され、採点の結果、申請団体中最高得点となりました。

審議の結果、スポーツプラザ報徳を指定管理者候補者として選定しました。

以 上

(別紙 1)

松本市四賀B & G海洋センター、松本市波田B & G海洋センター
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Aa】施設管理型×稼働率重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	2				
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	15	
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	3	10		
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	4			
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3			
			地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	2	2		
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	3	3	13	
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3	3		
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
苦情・要望への対応			29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
セルフモニタリング			30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	2	2			
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
自主事業		自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	1	2	2		
			33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	1				
特記事項		特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		
水質管理		水質管理	35 水質に関し、利用者及び従業員等の体に影響がないよう管理しているか	2	2	2		
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	35	35	35	
		事業計画書及び収支予算書	37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	38 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	30				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市四賀B & G海洋センター、松本市波田B & G海洋センター
団体の審査評価総括表

区 分		配点	シンコースポーツ	スポーツプラザ報徳
一次評価	適性	適／否	適	適
	基本的事項	100	68.00	67.58
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	12 (出席委員6人)	6.20	6.70
合 計		112	74.20	74.28
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(28.0/70点)		x > 28.0	38.00	37.80

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	シンコースポーツ	スポーツプラザ報徳
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.00	2.20
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.40	1.40
	管理運営	管理運営方針	5	3.10	3.10
		組織・体制	6	3.00	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00	3.00
		安全管理	2	1.00	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50	1.50
		業務内容	10	5.00	5.60
		地域との連携	2	1.00	1.40
	利用者への対応	利用促進	3	2.10	2.10
		利用者サービス向上	3	2.10	2.10
		障害者等への配慮	2	1.00	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50	1.50
		セルフモニタリング	2	1.40	1.00
	環境対策	環境への配慮	1	0.50	0.50
	自主事業	自主事業計画	2	1.00	1.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00	1.00
	水質管理	水質管理	2	1.40	1.40
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00	1.00
		提案価格	30	30.00	29.78
基本的事項合計			100	68.00	67.58
提案価格（5年間総額：円）				175,000,000	176,310,214

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	シンコースポーツ	スポーツプラザ報徳
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3	1.30	1.60
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3	1.60	1.60
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3	1.80	1.80
質疑応答での回答は明確であったか	3	1.50	1.70
プレゼンテーション等評価合計	12	6.20	6.70

アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター、
松本市山と自然博物館

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター、松本市山と自然博物館の
指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター、松本市山と自然博物館を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター、松本市山と自然博物館

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(2) 管理経費

利用料金制委託料併用方式

指定期間中の委託料上限額 263,750千円

(3) 管理運営方針

ア アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター及び松本市山と自然博物館の設置目的を踏まえ、利用者が安全で快適な利用ができるよう適正な管理運営に努め、市民の信頼に応えること。

イ 公の施設であることを十分認識し、平等かつ公平な管理運営に努めること。

ウ 利用者のニーズを把握し、質の高いサービスの提供を図るとともに、効果的かつ効率的な管理運営に努めること。

エ 松本市山と自然博物館の運営にあたり、松本市立博物館及び他分館と適切に連携をとり、サービス向上に努めること。

オ ごみの削減、省エネルギー、CO2削減など環境に配慮した運営を行うこと。

カ 災害時、緊急時に備えた危機管理を徹底すること。

(4) 特記事項

ア アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター及び松本市山と自然博物館の施設を一体的に管理することを条件とする。

イ 現在、アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター及び松本市山と自然博物館の管理運営に従事する職員で、今後も継続して勤務を希望する職員については、事業の継続性及び利用者サービスの安定性などを図る観点から、なるべく継続して雇用すること。

ウ 指定管理期間内にアルプス公園内の再整備、施設の増設や廃止等があった場合、また、施設の活用方針等に変更が生じた場合は、募集要項における募集条件が変更となる場合がある。この場合は、市及び指定管理者が協議を行い業務内容及び指定管理料の変更を行うこととする。

3 募集の主な経過

- | | | | |
|-------------------------|------|--------|-------|
| (1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等 | 令和4年 | 7月 | 1日 |
| (2) 説明会 | 令和4年 | 7月 | 12日 |
| (3) 質問受付 | 令和4年 | 7月13日～ | 7月22日 |
| (4) 質問回答 | 令和4年 | 7月 | 29日 |
| (5) 申請書類提出締切 | 令和4年 | 8月 | 19日 |

4 指定管理者応募団体名

TOY BOX

代 表 者 松本土建株式会社

代表取締役 大池 太士

所 在 地 松本市大字島立635番地1

共同体構成団体	松本土建株式会社、株式会社アイネット、 株式会社コンフォール、ルピナ中部工業株式会社
従業員数	619人（共同体合計）
資本金	210,000千円（共同体合計）
主たる業務	指定管理事業

5 選定審議の内容

(1) 選定審議会を開催

ア 開催日

令和4年10月25日（火）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、三好規正委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の建設部長同席の下、公園
緑地課長及び博物館長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙1）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内
容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、公園緑地課及び博物館による一次評価結果報告を基に、選
定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲
げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から
協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定
しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙2）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 TOY BOX

7 選定結果の概要

応募団体名			TOY BOX
区分		配点等	
一次評価		100	68.60
大項目	適性	適／否	適
	団体の管理能力	30	16.20
	施設の運営	35	19.30
	経済性	35	33.10
二次評価		14 (2点×7人)	7.50
合 計		114	76.10
順 位			1

※ 施設分類・・・【A a】施設管理型×稼働率重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙3のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

TOY BOXは、当該施設の現指定管理者として安定した管理運営実績を有しており、地域との連携についても、地元町会と連携した清掃活動や、小中学校・養護学校等と連携した職業体験の受入れを積極的に行うとともに、市内企業と連携した地域貢献にも取り組んでいる点が評価されました。

また、移動販売車によるフードコート設置等の利用者サービス向上を図る提案や、公園と博物館の双方に資する自主事業計画の提案があること、さらに、異業種共同体という強みを生かし、施設の自主修繕を積極的に行うことで経費削減につながっている点も高く評価されました。

審議の結果、TOY BOXを指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・アルプスドリームコースターの安全管理に万全を期するよう、引続き管理体制や乗車指導等を強化されたい。

以 上

(別紙 1)

アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター、松本市山と自然博物館
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Aa】施設管理型×稼働率重視

I 一次評価（書類審査）

大項目		中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否				
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	管理運営方針	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5		22
				12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2			
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3	6		
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1	1		
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2	2		
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか	2		
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか				2			
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2				
	施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3	15	
			業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	3	9		
				23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	3			
				24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	3			
				地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか			3
		利用者への対応	利用促進	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	2	2	12	
			利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	3	3		
			障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	2	2		
苦情・要望への対応			29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	3	3			
セルフモニタリング			30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	2	2			
環境対策		環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	1	1	1		
自主事業		自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	1	2	2		
			33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	1				
特記事項		特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2		
施設の連携		園内施設の連携計画	35 園内施設が連携し、それぞれの施設機能を高める計画となっているか	3	3	3		
経済性		経済性	経費節減・業務効率化	36 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	35	35	35
	事業計画書及び収支予算書		37 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
	提案価格		38 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	30				
【一次評価】評価基準点合計点					100	100	100	100

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二次評価】評価基準点合計点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)
 アルプス公園、松本市アルプスドリームコースター、松本市山と自然博物館
 団体の審査評価総括表

区 分		配点	TOY BOX
一次評価	適性	適／否	適
	基本的事項	100	68.60
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	7.50
合 計		114	76.10
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(28.0/70点)		x > 28.0	38.60

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	TOY BOX
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	3.00
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.40
	管理運営	管理運営方針	5	2.50
		組織・体制	6	3.60
		働き方改革の推進	1	0.70
		職員研修・人材育成	2	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00
		安全管理	2	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50
		業務内容	9	4.50
		地域との連携	3	2.10
	利用者への対応	利用促進	2	1.00
		利用者サービス向上	3	2.10
		障がい者等への配慮	2	1.00
		苦情・要望への対応	3	1.50
		セルフモニタリング	2	1.00
	環境対策	環境への配慮	1	0.50
	自主事業	自主事業計画	2	1.00
	特記事項	特記事項への対応	2	1.00
	施設の連携	園内施設の連携計画	3	2.10
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	2.10
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00
		提案価格	30	30.00
基本的事項合計			100	68.60
提案価格（5年間総額：円）				263,750,000

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	TOY BOX
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	1.85
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	1.95
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	2.05
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.65
プレゼンテーション等評価合計	14	7.50

松本市立博物館
指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

松本市立博物館の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、松本市立博物館を効果的かつ効率的に管理運営するため、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条に基づき、指定管理者を募集したところ2団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、応募者について提出書類と応募者のプレゼンテーション及び質疑応答を基に、総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市立博物館

2 主な募集条件

(1) 指定期間

令和5年10月1日～令和8年3月31日

(2) 管理経費

委託料方式

指定期間中の委託料上限額 382,250千円

(3) 管理運営方針

本施設は、「調査研究型」「交流型」「学習型」「キャリア支援型」の4つのミュージアムの性格を持つ博物館として運営される。そして、それらが持続的に提供されるための管理運営が不可欠となっている。

加えて、令和3年度に開催した「松本市基幹博物館1階活用市民会議」から受けた『松本市基幹博物館1階活用市民会議提言書（以下、「1階活用提言」という。）』にあるとおり、往時の松本城の正門である大手門に隣接する場所に立地することから、地域・人の「ハブ」としての機能が重視されている。

以上の点から、松本市は本施設の管理運営方針として、以下の4つを重要な点として整理する。

ア 人々が集い、学び、出会い交流し、未来を創造するための機会（事業・場）を提供すること（施設目的の達成）。

イ 松本で育まれてきた多様な歴史、文化、自然、産業等をブランド化し、価値づけ、その魅力を発信すること（地域の魅力の顕在化、情報発信）。

ウ 施設効用を最大限に発揮する施設管理（市民利用・施設稼働率）

エ 持続可能な博物館経営（施設経費）

(4) 特記事項

ア 松本市は、「豊かさと幸せに 挑み続ける 三ガク都」の実現を目指している。特に「学都・松本のシンカ（進化・深化）」の実現については、松本市教育大綱で「子どもが主人公 学都松本のシンカ」がうたわれ、多様性、創造性、主体性の3つの学びの視点を掲げている。

さらに、1階活用提言では、学芸業務が市の直営であることや、博物館の立地特性や将来の展望を見据え、様々な博物館事業の可能性が提案されている。こうした背景を踏まえ、自主事業として、1階活用提言の内容の具現化などを可能な範囲で提案すること。

イ 避難所等に位置付けられた場合の取扱い

大規模災害においては、地域住民の避難だけでなく、当地に滞在している観光客の避難も問題となる。

本施設は、中心市街地の回遊導線の骨格をなす「城・駅・森のトライアングルエリア」の一角を担う「松本城三の丸エリア」に位置する公共施設であることから、災害発生時には、上記の対応を求められることが容易に想像される。また、市内に複数ある博物館施設や市外にも視野を広げた場合、最新の耐震施設である本施設は、各施設の資料の避難場所としての役割も期待されるところである。

以上の点を踏まえ、施設設置者である松本市と協議を重ねつつ、緊急時の柔軟な施設運用に特段に配慮すること。

3 募集の主な経過

(1) 募集要項の配布開始、ホームページ掲載等	令和4年	7月	1日
(2) 説明会	令和4年	7月	14日
(3) 質問受付	令和4年	7月	1日～7月21日
(4) 質問回答	令和4年	8月	1日
(5) 現地見学	令和4年	8月	3日
(6) 申請書類提出締切	令和4年	8月	19日

4 指定管理者応募団体名

- (1) 株式会社フクシ・エンタープライズ（以下「フクシ・エンタープライズ」という。）

代 表 者 代表取締役 福士 朝尋
所 在 地 東京都江東区大島1丁目9番8号
設 立 年 昭和58年
従 業 員 数 1,598人
資 本 金 50,000千円
主たる業務 文化教養施設（博物館・美術館・音楽ホール・文化ホール・図書館・生涯学習施設・青少年施設・公民館・児童館等）の管理・運営、地方自治法等に基づく指定管理者としての公の施設の管理及び公共機関からの委託業務の請負に関する業務、各種スポーツ施設（プール・トレーニング室・体育館・グラウンド・庭球場等）の管理・運営、健康増進施設の管理・運営、温浴施設の管理・運営、スポーツ施設・健康増進施設の整備に関するコンサルティング業務、各種スポーツ教室・講習会の企画・指導等

- (2) 松本トラストパートナーズ

代 表 者 株式会社協栄
代表取締役 山田 賢治
所 在 地 東京都中央区日本橋蛸殻町2丁目13番9号
共同体構成団体 株式会社協栄
株式会社アシスト&ソリューション
従 業 員 数 3,876人（共同体合計）
資 本 金 107,500千円（共同体合計）
主たる業務 総合ビルメンテナンス業務、建築物環境衛生管理業務、ビル設備総合管理業務、保安警備業務並びに防災業務、美術館・博物館の展示物の監視等運営管理業務、スポーツ施設の運営管理業務、清掃業、受付・電話交換・建物環境衛生等の各業務一般、消防防災設備の設計施工管理及び消防防災機器の販売、警備の請負及びその保障等

5 選定審議の内容

- (1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月17日（月）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

ア 書類審査

団体からの申請書類について、施設所管部の教育次長同席の下、基幹博物館建設担当課長から次の報告を受け、質疑を行いました。

(ア) 募集要項に定める申請資格等を満たしていること。

(イ) 選定審査基準（別紙１）に基づく一次評価

イ 団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

団体に対し、あらかじめ選定審議会への出席を求め、団体から提案内容等についての説明を受けた後、質疑を行いました。

ウ 一次評価

申請書類、博物館による一次評価結果報告を基に、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

エ 二次評価

団体のプレゼンテーション及び質疑応答に対して、選定審査基準に掲げる審査項目について評価を行いました。

オ 最終審議

一次評価、二次評価で得られた評価結果を踏まえ、総合的な観点から協議し、団体ごとに総合評価を行い、最高得点団体を候補者として選定しました。

なお、評価表の作成は、採点要領（別紙２）に基づき行いました。

6 選定結果

指定管理者候補者 フクシ・エンタープライズ

7 選定結果の概要

応募団体名			フクシ・ エンタープライズ	松本トラスト パートナーズ
区分		配点等		
一次評価		100	60.00	56.60
大項目	適性	適／否	適	適
	団体の管理能力	30	16.40	14.80
	施設の運営	55	31.10	29.30
	経済性	15	12.50	12.50
二次評価		14 (2点×7人)	8.65	8.45
合 計		114	68.65	65.05
順 位			1	2

※ 施設分類・・・【B b】事業実施型×安定サービス重視

※ 団体の審査評価総括表は、別紙３のとおりです。

8 審議講評及び付帯意見

フクシ・エンタープライズは、総資本経常利益率が増加傾向で、団体の経営状況が良好である点や、地域との連携にも積極的に取り組む姿勢があり、市内関係団体等との連携に関する数々の提案があること、さらに、博物館分館と連携した謎解きスタンプラリー等、分館への誘客に関する具体的な提案もある点が高く評価されました。

また、多彩な広報活動による利用率向上策や独自の利用者サービス向上策の計画があり、松本市基幹博物館１階活用市民会議の提言内容を具現化する

提案も充実している点や、文化観光推進法の施行や博物館法改正の趣旨を理解し、社会教育施設として文化観光振興のハブの役割も担う提案がされていることが高く評価され、採点の結果、申請団体中最高得点となりました。

松本トラストパートナーズは、市内に事業所のある企業が構成団体となり、市内の総合広告代理店も協力企業となるなど、当該施設の管理運営をサポート・バックアップする体制が高く評価されました。

また、博物館資料の保存には湿度の変化が大きな影響を及ぼすことを理解し、展示室・収蔵庫に水を持ち込まない清掃の提案があることや、構成団体の独自技術である光触媒コーティングによる感染予防対策を行い、利用者に安全・安心の環境を提供する提案が高く評価されましたが、採点の結果、申請団体中第2位の得点となりました。

審議の結果、フクシ・エンタープライズを指定管理者候補者として選定しました。

最後に、指定管理者候補者への委員の付帯意見は以下のとおりです。

- ・ 今回の様々な提案を着実に実現されたい。

以 上

(別紙 1)

松本市立博物館
指定管理者選定審査基準

施設分類
【Bb】事業実施型×安定サービス重視

I 一次評価（書類審査）

大項目	中項目	事業計画書項目	審査基準	配点等	事業計画書 配点等	中項目 配点	大項目 配点	
適性	管理基準への対応	市民の平等利用	1 市民の平等利用の確保に対する考え方及び方策	適／否	適／否	適／否	適／否	
		経営理念等	2 公共の仕事という倫理性の認識があり、経営理念、方針は指定管理者として相応しいか	適／否	適／否			
		職員の労働条件	3 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか	適／否	適／否			
		危機管理対策	4 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	適／否	適／否			
			5 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応できるか	適／否	適／否			
		個人情報保護等の管理	6 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護についての適切な管理体制	適／否	適／否			
		情報公開	7 情報公開や監査請求に対する考え方	適／否	適／否			
基本的事項	団体の管理能力	団体の概要	8 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	5	8	8	30	
			9 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	1				
			類似施設・関連業務等の実績	10 類似施設（当該施設を含む）や関連業務の管理運営実績はあるか				2
		管理運営	11 市が示す施設運営方針を理解し、仕様書に示す業務を適切に行うことができるか	3	5	22		
			12 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組む姿勢があるか	2				
			組織・体制	13 職員体制や配置人員は適切であるか	3			6
				14 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	3			
			働き方改革の推進	15 働き方改革を進めるために具体的な取組みが行われているか	1			1
			職員研修・人材育成	16 職員研修計画や業務指導に関する方針は示されているか	2			2
				経理及び事務処理等	17 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理ができるか			2
	18 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方は適当であるか		2					
	19 業務報告や事業報告を適切に作成することができるか		2					
	安全管理	20 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施計画はあるか	2	2	55			
	施設の運営	21 施設の設置目的、業務等を的確に理解し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか	3	3		18		
		業務内容	22 管理区域、業務範囲を的確に把握し、管理運営業務を適切に行うことができるか	4			12	
			23 施設の設置目的に合致し、施設の効用が最大限発揮される内容となっているか	4				
			24 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか	4				
	地域との連携	25 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組む姿勢があるか	3	3		16		
	利用者への対応	26 施設の利用率の向上を図る方策等があるか	5	5				
		利用者サービス向上	27 利用者の利便性や満足度を高めるための方策が講じられているか	5			5	
		障がい者等への配慮	28 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した提案がなされているか	1			1	
		苦情・要望への対応	29 利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応できるか	2			2	
	セルフモニタリング	30 セルフモニタリングの具体的方法を定めているか	3	3			10	
	環境対策	環境への配慮	31 エネルギー削減等について具体的な目標を定め、その達成に向けた取組みが講じられているか	2		2		2
自主事業	自主事業計画	32 サービスの向上につながり、かつ実施可能な計画であるか	4	7		7		
		33 必要な経費を計上し、バランスのとれた収支計画となっているか	3					
特記事項	特記事項への対応	34 募集要項における特記事項について考慮されているか	2	2	2			
松本市立博物館の設置目的を達成するために必要と認める基準	混合運営スキームへの対応	35 直営と指定管理者との混合運営スキームに対し、具体的な対応案を講じているか	2	2	15	15		
	社会教育施設としての理解	36 博物館という施設に対し深い理解があるか	3	3				
	文化観光施設としての理解	37 松本城三の丸エリアの入り口に立つ施設としての役割を考慮しているか	3	3				
	公共施設運営の地域配慮	38 地域産業・経済への貢献について、具体的な検討案を示しているか	2	2				
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	39 経費節減や業務効率化を継続的に提供する方策等はあるか	3	100	100	100	
		事業計画書及び収支予算書	40 施設の管理運営にかかる経費が適正に見込まれ、収支のバランスがとれているか	2				
		提案価格	41 配点×（最低提案価格／当該提案価格）	10				
【一次評価】評価基準点合計点				100	100	100	100	

II 二次評価（プレゼンテーション及び質疑応答評価）

区分	審査基準	配点等
プレゼンテーションに対する評価	1 事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	0.5／委員1人
	2 施設の有効活用に創意工夫が認められるか	0.5／委員1人
	3 指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	0.5／委員1人
	4 質疑応答での回答は明確であったか	0.5／委員1人
【二 次 評 価】 評 価 基 準 点 合 計 点		2／委員1人

(別紙 2)

松本市公の施設指定管理者選定審議会における採点要領

I 採点

採点	係数	評価
A	1.0	特に優れている
B	0.7	優れている
C	0.5	標準を満たしている
D	0.3	劣る
E	0.0	特に劣る

II 採点方法

- 1 一次評価の採点は、施設所管課による評価をもとに、委員の協議により行う。
- 2 二次評価は、出席委員全員が評価・採点して評価表に記入し、その合計点を算出して二次評価得点とする。

【一次評価、二次評価共通】

- 3 採点は、審査基準に基づき、団体ごとに行う。
- 4 採点は、「標準」に対する5段階評価とし、各項目の配点にA～Eの係数を乗じて点数化する。
- 5 点数は、小数点以下第2位まで算出する。
- 6 一次評価（基本的事項）と二次評価の合計点が第1位の団体を、指定管理者候補者とする。

【失格について】

- 7 一次評価：適否審査において、「否」と判定された項目が1つでもあれば失格とする。
- 8 一次評価：基本的事項の提案価格を除いた配点中、4割に満たない団体は失格とする。

(別紙 3)

松本市立博物館
団体の審査評価総括表

区 分		配点	フクシ・エンタープライズ	松本トラストパートナーズ
一次評価	適性	適／否	適	適
	基本的事項	100	60.00	56.60
二次評価	プレゼンテーション等評価 (2点／委員1人)	14 (出席委員7人)	8.65	8.45
合 計		114	68.65	65.05
提案価格を除く点数(x) > 失格判定(36.0/90点)		x > 36.0	50.00	46.60

<基本的事項の内訳>

大項目	中項目	事業計画書項目	配点	フクシ・エンタープライズ	松本トラストパートナーズ
団体の管理能力	団体の概要	主たる業務内容、従業員数、経営実績	6	4.00	3.20
		類似施設・関連業務等の実績	2	1.00	1.00
	管理運営	管理運営方針	5	2.50	2.50
		組織・体制	6	3.00	3.00
		働き方改革の推進	1	0.50	0.50
		職員研修・人材育成	2	1.00	1.00
		経理及び事務処理等	6	3.00	2.60
		安全管理	2	1.40	1.00
施設の運営	施設の運営	管理運営希望理由	3	1.50	1.50
		業務内容	12	6.00	6.80
		地域との連携	3	2.10	1.50
	利用者への対応	利用促進	5	3.50	2.50
		利用者サービス向上	5	3.50	3.50
		障害者等への配慮	1	0.50	0.50
		苦情・要望への対応	2	1.00	1.00
		セルフモニタリング	3	1.50	1.50
	環境対策	環境への配慮	2	1.00	1.00
	自主事業	自主事業計画	7	3.50	3.50
	特記事項	特記事項への対応	2	1.40	1.00
	松本市立博物館の設置目的を達成するために必要と認める基準	混合運営スキームへの対応 社会教育施設としての理解 文化観光施設としての理解 公共施設運営の地域配慮	10	5.60	5.00
経済性	経済性	経費節減・業務効率化	3	1.50	1.50
		事業計画書及び収支予算書	2	1.00	1.00
		提案価格	10	10.00	10.00
基本的事項合計			100	60.00	56.60
提案価格（2.5年間総額：円）				382,153,000	382,218,735

<二次評価：プレゼンテーション等評価の内訳>

評価項目	配点	フクシ・エンタープライズ	松本トラストパートナーズ
事業計画及び提案価格に実行性が感じられるか	3.5	2.05	2.05
施設の有効活用に創意工夫が認められるか	3.5	2.55	1.95
指定管理者となる熱意や意欲が感じられるか	3.5	2.30	2.40
質疑応答での回答は明確であったか	3.5	1.75	2.05
プレゼンテーション等評価合計	14	8.65	8.45

特 命 指 定 施 設
(松本市営沢渡駐車場(第1～第4)、松本市野麦峠スキー場)

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

特命指定施設（松本市営沢渡駐車場（第１～第４）、松本市野麦峠スキー場）の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、指定管理者の選定は公募により行うことを原則としていますが、次の場合に限っては公募を行わず、特定の団体等を指定管理者として選定できることとしています。

- 1 特定の団体が保有する高度な専門的知識による継続的な管理運営が不可欠で、他では調達できない。
- 2 地域との結びつきが強い施設で、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している。
- 3 特定の団体等の寄附により設置した施設等、設置目的や経過等から管理代行者が限定される。
- 4 特定の団体等と区分所有する施設である。

これらに該当する松本市営沢渡駐車場（第１～第４）、松本市野麦峠スキー場について、地方自治法第２４４条の２及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成１５年条例第４６号）第２条及び第３条に基づく指定管理者の指定の申請を受け、松本市では指定管理者の選定を行うこととなりました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、団体の提出書類をもとに書類審査を行い、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和４年１１月１４日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称
松本市宮沢渡駐車場（第1～第4）、松本市野麦峠スキー場

2 申請団体及び特命指定する理由並びに指定期間
別表のとおり

3 各施設における申請団体の概要

(1) 松本市宮沢渡駐車場

申請団体	一般財団法人ピアーズさわんど 代表理事 齊藤 敬一
所在地	松本市安曇4162番地1
設立年	平成24年
従業員数	14人
主たる業務	中部山岳国立公園等の利用施設の管理運営業務及び公園等の適正利用のための情報提供、沢渡バスターミナル・沢渡駐車場及び便益施設の管理運営業務、売店・飲食店の経営、周辺地域団体との連携による協働行事の開催及び広域観光情報・自然情報及び利用情報の発信等

(2) 松本市野麦峠スキー場

申請団体	株式会社岳都リゾート開発 代表取締役 永瀬 完治
所在地	松本市大字笹賀7600番地51
設立年	平成20年
従業員数	43人
主たる業務	スキー場及びリゾート施設の運営、インターネットによる旅行・スポーツ及び教育等に関する情報提供サービス、スキー場及びリゾート施設における設備の修繕・レンタル及び販売、飲食店の経営、公共施設・民間施設等の運営管理業務等

4 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月11日（火）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

施設所管課長から、特命指定の理由、申請者からの提出書類が仕様書等に定める条件を満たしていること並びに選定審査基準を参考に行った一次評価について報告を受け、質疑を行いました。

その上で、特命指定理由の妥当性及び事業計画書の内容が以下の3つの条件を満たすものであるかを中心に審査を行い、指定管理者候補者を選定しました。

ア 事業計画書による当該施設の運営が、住民の平等利用を確保することができるものであること。

- イ 事業計画書の内容が、当該施設の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- ウ 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。

5 選定結果

別表の申請団体を各施設の指定管理者候補者として選定しました。

以 上

別 表

特命指定申請団体及び特命指定理由並びに指定期間

施設名	申請団体	特命理由	指定期間
松本市宮沢渡駐車場（第1～第4）	一般財団法人 ピアーズさわん ど	<p>当該施設は、災害等の緊急時対応や過酷渋滞時の臨時駐車場の対応等、地元調整が必要な、地域との結びつきが強い施設である。</p> <p>申請団体は、地元住民が中心となって組織された団体で、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している場合に該当するため。</p>	R 5. 4 ～ R 1 0. 3 (5 年間)
松本市野麦峠スキー場	株式会社岳都リ ゾート開発	<p>奈川地区の将来について、持続可能な奈川地区推進協議会において議論が行われているところであり、当該施設の今後の在り方（存廃）についても検討されていることから、市の施策との一体性が不可欠な場合に該当するため。</p>	R 5. 9 ～ R 6. 8 (1 年間)

特 命 指 定 施 設
(松本市老人デイサービスセンターEグループ(四賀、安曇、奈川、梓川、波田))

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

特命指定施設（松本市老人デイサービスセンターEグループ（四賀、安曇、奈川、梓川、波田））の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、指定管理者の選定は公募により行うことを原則としていますが、次の場合に限っては公募を行わず、特定の団体等を指定管理者として選定できることとしています。

- 1 特定の団体が保有する高度な専門的知識による継続的な管理運営が不可欠で、他では調達できない。
- 2 地域との結びつきが強い施設で、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している。
- 3 特定の団体等の寄附により設置した施設等、設置目的や経過等から管理代行者が限定される。
- 4 特定の団体等と区分所有する施設である。

これらに該当する松本市老人デイサービスセンターEグループ（四賀、安曇、奈川、梓川、波田）について、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第2条及び第3条に基づく指定管理者の指定の申請を受け、松本市では指定管理者の選定を行うこととなりました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、団体の提出書類をもとに書類審査を行い、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市老人デイサービスセンターEグループ

- ・ 松本市四賀デイサービスセンター
- ・ 松本市安曇デイサービスセンター
- ・ 松本市奈川デイサービスセンター
- ・ 松本市梓川デイサービスセンター
- ・ 松本市波田デイサービスセンター

2 申請団体及び特命指定する理由並びに指定期間
別表のとおり

3 申請団体の概要

申請団体	社会福祉法人松本市社会福祉協議会 会長 小林 弘明
所在地	松本市双葉4番16号
設立年	昭和27年
従業員数	467人
主たる業務	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整及び助成、保健医療・教育その他社会福祉と関連する事業との連絡、居宅介護支援事業の経営、老人デイサービス事業の経営、特定相談支援事業・障がい児相談支援事業の経営、障がい福祉サービス事業の経営、児童福祉施設及び老人福祉センターの経営、指定管理施設等の経営等

4 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年10月17日（月）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

施設所管課長から、特命指定の理由、申請者からの提出書類が仕様書等に定める条件を満たしていること並びに選定審査基準を参考に行った一次評価について報告を受け、質疑を行いました。

その上で、特命指定理由の妥当性及び事業計画書の内容が以下の3つの条件を満たすものであるかを中心に審査を行い、指定管理者候補者を選定しました。

ア 事業計画書による当該施設の運営が、住民の平等利用を確保することができるものであること。

イ 事業計画書の内容が、当該施設の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

ウ 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。

5 選定結果

別表の申請団体を各施設の指定管理者候補者として選定しました。

6 選定に当たっての委員の意見

介護人材の確保・育成に努め、安定したサービス提供に努められたい。

以 上

別 表

特命指定申請団体及び特命指定理由並びに指定期間

施設名	申請団体	特命理由	指定期間
松本市老人デイサービスセンターEグループ（四賀、安曇、奈川、梓川、波田）	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会	<p>当該施設は、市が各地区における高齢者福祉の拠点として整備し、長年、地域福祉に携わってきた申請団体に運営を委託（指定管理）してきた経過があり、地域に根付いた他の事業も実施していることから、地域の住民に信頼され、地域づくりにも寄与している。</p> <p>また、四賀デイサービスセンターは、建設時に申請団体から寄附を受けしており、設置目的や経過等から管理代行者が限定される場合に該当するため。</p>	R 5. 4 ～ R 1 0. 3 (5 年間)

特 命 指 定 施 設

(松本市坊主山ラインガルテン、松本市緑ヶ丘ラインガルテン、
松本市梓川水田農産物処理加工施設、松本市梓川福祉センター)

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

特命指定施設（松本市坊主山クラインガルテン、松本市緑ヶ丘クラインガルテン、松本市梓川水田農産物処理加工施設、松本市梓川福祉センター）の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、指定管理者の選定は公募により行うことを原則としていますが、次の場合に限っては公募を行わず、特定の団体等を指定管理者として選定できることとしています。

- 1 特定の団体が保有する高度な専門的知識による継続的な管理運営が不可欠で、他では調達できない。
- 2 地域との結びつきが強い施設で、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している。
- 3 特定の団体等の寄附により設置した施設等、設置目的や経過等から管理代行者が限定される。
- 4 特定の団体等と区分所有する施設である。

これらに該当する松本市坊主山クラインガルテン、松本市緑ヶ丘クラインガルテン、松本市梓川水田農産物処理加工施設、松本市梓川福祉センターについて、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第2条及び第3条に基づく指定管理者の指定の申請を受け、松本市では指定管理者の選定を行うこととなりました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、団体の提出書類をもとに書類審査を行い、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

1 施設の名称

松本市坊主山クライנגルテン、松本市緑ヶ丘クライングルテン、松本市梓川水田農産物処理加工施設、松本市梓川福祉センター

2 申請団体及び特命指定する理由並びに指定期間
別表のとおり

3 各施設における申請団体の概要

(1) 松本市坊主山クライングルテン、松本市緑ヶ丘クライングルテン

申請団体	四賀むらづくり株式会社
	代表取締役 常田 兼弘
所在地	松本市取出481番地1
設立年	平成7年
従業員数	28人
主たる業務	市民農園・公共施設の管理及び運営の受託業務、ホテル・旅館及び飲食店の経営、浄化槽の設計・施工・清掃・保守・点検並びに管理業務、堆肥の製造並びに販売等

(2) 松本市梓川水田農産物処理加工施設

申請団体	加工組合さくら
	代表 倉科 喜美子
所在地	松本市梓川倭4175番地1
設立年	平成17年
従業員数	18人
主たる業務	地元農産物等の加工及び消費拡大に関すること 特産加工品の開発研究及び市場開拓に関すること等

(3) 松本市梓川福祉センター

申請団体	社会福祉法人松本市社会福祉協議会
	会長 小林 弘明
所在地	松本市双葉4番16号
設立年	昭和27年
従業員数	467人
主たる業務	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整及び助成、保健医療・教育その他社会福祉と関連する事業との連絡、居宅介護支援事業の経営、老人デイサービス事業の経営、特定相談支援事業・障がい児相談支援事業の経営、障がい福祉サービス事業の経営、児童福祉施設及び老人福祉センターの経営、指定管理施設等の経営等

4 選定審議の内容

(1) 選定審議会の開催

ア 開催日

令和4年9月26日（月）【於：松本市役所第二応接室】

イ 出席委員（五十音順）

大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、中野嘉勝委員、
古川智史委員、山本綾子委員

(2) 選定審査の方法

施設所管課長から、特命指定の理由、申請者からの提出書類が仕様書等に定める条件を満たしていること並びに選定審査基準を参考に行った一次評価について報告を受け、質疑を行いました。

その上で、特命指定理由の妥当性及び事業計画書の内容が以下の３つの条件を満たすものであるかを中心に審査を行い、指定管理者候補者を選定しました。

ア 事業計画書による当該施設の運営が、住民の平等利用を確保することができるものであること。

イ 事業計画書の内容が、当該施設の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

ウ 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。

5 選定結果

別表の申請団体を各施設の指定管理者候補者として選定しました。

6 選定に当たっての委員の意見

(1) 松本市坊主山ラインガルテン、松本市緑ヶ丘ラインガルテン

ア 多様化する利用者ニーズに、柔軟に対応されたい。

イ 施設の有効活用や地域の活性化につながる新しいことに取り組まれたい。

ウ 早急に財務状況の改善を図られたい。

(2) 松本市梓川水田農産物処理加工施設

収益増やサービス向上等に向け、多様な可能性を検討されたい。

以 上

別 表

特命指定申請団体及び特命指定理由並びに指定期間

施設名	申請団体	特命理由	指定期間
松本市坊主山クラ インガルテン、松 本市緑ヶ丘クラ インガルテン	四賀むらづくり 株式会社	<p>当該施設は、都市と農村との交流による地域の活性化を目的とした施設で、地域との結びつきが強い施設である。</p> <p>また、申請団体は、同施設を運営するために設立され、地区内の人材を雇用し地域の活性化に寄与しており、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している場合に該当するため。</p>	R 5.4 ～ R 8.3 (3年間)
松本市梓川水田農 産物処理加工施設	加工組合さくら	<p>申請団体は、地元の女性が組織した団体で、地元農産物加工の特産化による農業振興や地域の活性化を目的に活動しており、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している場合に該当するため。</p>	R 5.4 ～ R 10.3 (5年間)
松本市梓川福祉セ ンター	社会福祉法人 松本市社会福祉 協議会	<p>当該施設は、地域の市民団体や高齢者等が利用する地域福祉の拠点となっており、地域との結びつきが強い施設である。</p> <p>また、申請団体は、当該施設内に西部地区センター梓川事業所を置き、地域福祉の推進に貢献していることから、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している場合に該当するため。</p>	R 5.4 ～ R 10.3 (5年間)

特 命 指 定 施 設

(松本市音楽文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市波田文化センター)

指定管理者候補者選定審議結果報告書

令和4年11月

松本市公の施設指定管理者選定審議会

特命指定施設（松本市音楽文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市波田文化センター）の指定管理者の候補者選定に係る審議結果について

松本市では、指定管理者の選定は公募により行うことを原則としていますが、次の場合に限っては公募を行わず、特定の団体等を指定管理者として選定できることとしています。

- 1 特定の団体が保有する高度な専門的知識による継続的な管理運営が不可欠で、他では調達できない。
- 2 地域との結びつきが強い施設で、地縁に特定される団体が管理を行って地域づくりに寄与している。
- 3 特定の団体等の寄附により設置した施設等、設置目的や経過等から管理代行者が限定される。
- 4 特定の団体等と区分所有する施設である。

これらに該当する松本市音楽文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市波田文化センターについて、地方自治法第244条の2及び松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第2条及び第3条に基づく指定管理者の指定の申請を受け、松本市では指定管理者の選定を行うこととなりました。

松本市公の施設指定管理者選定審議会（以下「選定審議会」という。）は、団体の提出書類をもとに書類審査を行い、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果について次のとおり報告します。

令和4年11月14日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市公の施設指定管理者選定審議会

会 長 山 本 綾 子

- 1 施設の名称
松本市音楽文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市波田文化センター
- 2 申請団体及び特命指定する理由並びに指定期間
別表のとおり
- 3 申請団体の概要

申 請 団 体	一般財団法人松本市芸術文化振興財団 理事長 青山 織人
所 在 地	松本市大手3丁目8番13号
設 立 年	昭和58年
従 業 員 数	43人
主たる業務	松本市から管理を指定された文化施設及びその他の施設の管理運営 優れた芸術文化の鑑賞の機会の提供等
- 4 選定審議の内容
 - (1) 選定審議会の開催
 - ア 開催日
令和4年10月26日（水）【於：松本市役所第二応接室】
 - イ 出席委員（五十音順）
板倉章委員、大竹美奈子委員、金井俊道委員、澤田若菜委員、
中野嘉勝委員、古川智史委員、山本綾子委員
 - (2) 選定審査の方法
施設所管課長から、特命指定の理由、申請者からの提出書類が仕様書等に定める条件を満たしていること並びに選定審査基準を参考に行った一次評価について報告を受け、質疑を行いました。
その上で、特命指定理由の妥当性及び事業計画書の内容が以下の3つの条件を満たすものであるかを中心に審査を行い、指定管理者候補者を選定しました。
 - ア 事業計画書による当該施設の運営が、住民の平等利用を確保することができるものであること。
 - イ 事業計画書の内容が、当該施設の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
 - ウ 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。
- 5 選定結果
別表の申請団体を各施設の指定管理者候補者として選定しました。
- 6 選定に当たっての委員の意見
 - (1) 一括管理による連携強化や有効活用について検討を深め、市民がさらに文化芸術に親しみやすくなる施設運営に努められたい。
 - (2) 波田文化センターの利用率向上に向けた有効活用策を検討されたい。

以 上

別 表

特命指定申請団体及び特命指定理由並びに指定期間

施設名	申請団体	特命理由	指定期間
松本市音楽文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市波田文化センター	一般財団法人 松本市芸術文化 振興財団	当該施設は、本市の文化芸術振興を推進する上で、本市の文化芸術施策に沿った管理運営が求められる施設であることから、市の施策との一体性が不可欠で、申請団体の長年に亘る実績に基づく高度な専門的知識による継続的な管理運営が不可欠であるため。	R 5. 4 ～ R 1 0. 3 (5 年間)